

地域研究センター年報

令和 2 (2020) 年度 第 13 号



やわらかな知性を身につける。

宮崎公立大学
MMU LIBERAL ARTS



目 次

地域研究センター長あいさつ	1
---------------	---

令和 2(2020)年度地域研究センター学年暦	3
-------------------------	---

I 生涯教育事業

オンライン公開講座	8
-----------	---

自主講座	14
------	----

オンライン語学講座	36
-----------	----

開放授業	48
------	----

その他講座・講演	50
----------	----

公民館講座	54
-------	----

II 研究事業

令和 2(2020)年度 宮崎市学術研究振興助成事業	58
----------------------------	----

令和 2(2020)年度 宮崎公立大学学術研究推進助成事業	66
-------------------------------	----

III 連携協力事業

宮崎市教育委員会との連携協力	86
宮崎銀行・宮崎太陽銀行との連携協力	88
宮崎商工会議所との連携協力	89
宮崎日日新聞社との連携協力	90

IV 資 料

宮崎公立大学交流センター・凌雲会館施設利用状況	108
地域貢献部会開催実績	109

V 付 録

新聞掲載記事一覧	114
新聞掲載記事	115

地域研究センター長あいさつ



地域研究センター長 竹野 茂

宮崎公立大学地域研究センター年報第13号の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。
地域の皆様におかれましては、日頃から宮崎公立大学の地域貢献活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

2020年度は2019年度の終わりに続く新型コロナウイルス感染症拡大による多大な影響を受け、大学授業のほとんどを遠隔授業で行わなければならない中、地域貢献活動も多大な支障をきたしました。特に、2020年度前半は、大学の遠隔授業体制の構築に時間を費やし、不透明なコロナ禍の状況によって、地域貢献事業が延期または中止に追い込まれ、活動できないという事態になってしまいました。2020年度の定期公開講座も次年度に持ち越し延期となってしまいました。しかしながら、徐々に大学自体のオンラインによる遠隔授業が軌道に乗るに連れて、大学教員のオンライン授業技術の向上をもたらし、オンラインによる地域貢献活動（特に講座事業）への道が開け、後半の半年で2019年度1年間の実績に迫る回復を見せることができました。「人間万事塞翁の馬」という中国の格言がありますが、まさに対面では行えない講演・講座が遠隔（オンライン）で開催できる機会を広げてくれたと言えなくもありません。

コロナ禍ではありましたが、2020年度も様々な地域貢献活動に取り組んでまいりました。期間は後半10月以降に集中して開催されております。当初予定していた「定期公開講座」は、次年度への繰越延期を決定せざるを得ませんでした。講座の火を消してはならぬと、「オンライン公開講座」と称して①コロナ禍 ～人間関係への脅威を乗り越える～（川瀬隆千教授）、②グローバル経済と脅威との両立をどのように図るか？米中経済デカップリングと、その日本経済に与える影響（稲田光朗准教授）③コロナ禍と日本政治（下村太一准教授）の3回シリーズの講座が2021年1月から2月にかけて開催されました。3回合計でのべ56名の参加者がありました。

英語上級・英語中級・韓国語初級・中国語初級の語学講座もオンラインで行われ、それぞれ延べ48名、124名、58名、77名の参加があり、好評でした。急遽オンライン講座という広報に大阪など県外からの参加者が見られるという珍しい現象を生みました。教員が独自の企画で行う「自主講座」

では、(1) 対面で行ったもの、(2) オンラインでライブ講座であったもの、(3) オンデマンド配信を行なったものに分かれ、8 件の講座が開設されました。(1) 対面の内訳は、①新しい小学校英語：子供たちは何を学ぶ？教師はどのように評価する？(松本祐子准教授・現教授) ②教育機関・地域と連携した防災教育〔第 10 回ストリートウォッチング〕(辻利則教授) 座学が 1 日と調査 2 日で構成されていました。③ストレスと上手につきあう心理学(川瀬隆千教授)、(2) オンラインの内訳は、④第 4 回「地域のお宝発掘・発展・発信事業」を考えるー自走する地域創生へー(永松敦教授) 全 2 回。⑤TOEIC のスコアを上げる秘訣！(Scott Bingham 准教授) ⑥宮崎平野の神楽(永松敦教授)、(3) オンデマンドの内訳は、⑦よみがえる江戸時代の宮崎(大賀郁夫教授) ⑧近代文学入門(楠田剛士准教授) でした。

新型コロナウイルス感染の状況に応じて、できるだけ感染拡大防止対策を講じた上、対面でできるか、オンラインに切り替えるべきか、中止にすべきかをその都度判断しながらやって参りました。予定されていたいくつかの講座を已むなく中止せざるを得ませんでした。その代わりに新たに開設していただいた講座も加えた結果、わずか 6 ヶ月で年間目標講座開設数に近い数字まで回復することができました。地域からの熱い要望と本学教員の地域貢献への火を消してはならないという熱い思いがマッチした結果であると私は信じて疑いません。

新型コロナウイルス感染の完全な収束に依然として目処が立たぬ中ではありますが、宮崎公立大学地域研究センターは、今後も地域社会に貢献する人材の育成や地域の問題解決に資する創造的な研究活動を通して、地域社会との連携・協働を踏まえ、活力ある地域づくりに積極的な役割を果たしていきたいと考えています。宮崎公立大学の地域貢献活動への一層のご理解とご支援をお願いいたします。

宮崎公立大学 2020年度 地域研究センター学年暦
2020 Academic Calendar

前 期 (2020年4月～9月)

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
月				1		月				1	
火				2		火				2	
水	1			3		水	1			3	
木	2			4		木	2			4	
金	3		1	5		金	3			5	
土	4		2	6		土	4		1	6	
日	5		3 憲法記念日	7		日	5		2	7	
月	6		4 みどりの日	8		月	6		3	8	
火	7		5 こどもの日	9		火	7		4	9	
水	8		6 振替休日	10		水	8		5	10	
木	9		7	11		木	9		6	11	
金	10		8	12		金	10		7	12	
土	11		9	13		土	11		8	13	
日	12		10	14		日	12		9	14	
月	13		11	15		月	13		10 山の日	15	
火	14		12	16		火	14		11	16	
水	15		13	17		水	15		12	17	
木	16		14	18		木	16 地域貢献部会①		13	18	
金	17		15	19		金	17		14	19	
土	18		16	20		土	18		15	20	
日	19		17	21		日	19		16	21	
月	20		18	22		月	20		17	22 敬老の日	
火	21		19	23		火	21		18	23 秋分の日	
水	22		20	24		水	22		19	24	
木	23		21	25		木	23 海の日(開講日)		20	25	
金	24		22	26		金	24 スポーツの日(開講日)		21	26	
土	25		23	27		土	25		22	27	
日	26		24	28		日	26		23	28	
月	27		25	29		月	27		24	29	
火	28		26	30		火	28		25	30	
水	29 昭和の日		27			水	29		26		
木	30		28			木	30		27 地域貢献部会②		
金			29			金	31		28		
土			30			土			29		
日			31			日			30		
月						月			31		

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各講座を中止した。

宮崎公立大学 2020年度 地域研究センター学年暦
2020 Academic Calendar

後 期 (2020年10月～2021年3月)

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
月						月		1		1	
火				1		火		2	英語中級講座⑥ 英語上級講座A④	2	地域貢献部会⑧
水				2		水		3		3	
木	1			3		木		4		4	
金	2			4	中国語初級講座⑧	金	1 元日	5	英語上級講座B④ 稲田准教授 ワタリ公開講座	5	
土	3 永松教授 自主講座			5		土	2	6		6	
日	4			6		日	3	7		7	
月	5 地域貢献部会③ 韓国語初級講座(オリエンテーション)	2	韓国語初級講座③	7	韓国語初級講座⑧	月	4	8		8	
火	6	3		8		火	5	9	英語中級講座⑦ 英語上級講座A⑤	9	
水	7	4		9	川瀬(隆)教授 自主講座	水	6	10		10	
木	8 中国語初級講座 (オリエンテーション)	5	中国語初級講座④	10	中国語初級講座⑨	木	7	11		11	
金	9	6		11		金	8	12	英語上級講座B⑤ 下村准教授 ワタリ公開講座	12	
土	10	7		12	補講日	土	9 補講日	13		13	永松教授 自主講座
日	11	8	松本准教授(現教授) 自主講座	13		日	10	14		14	
月	12 韓国語初級講座①	9	韓国語初級講座④	14	韓国語初級講座⑨	月	11 成人の日	15		15	
火	13	10		15	英語中級講座① 辻教授 自主講座(調査)	火	12 英語中級講座③ 英語上級講座A①	16	英語中級講座⑧ 英語上級講座A⑥	16	
水	14	11		16		水	13	17		17	
木	15 中国語初級講座①	12	中国語初級講座⑤	17	中国語初級講座⑩ 辻教授 自主講座(調査)	木	14	18	地域貢献部会⑦	18	
金	16	13		18		金	15 地域貢献部会⑥ 英語上級講座B①	19	英語上級講座B⑥	19	
土	17	14		19		土	16	20		20	大賀教授・楠田准教授 自主講座(ワタリ) 配信開始
日	18	15		20		日	17	21		21	
月	19 韓国語初級講座②	16	韓国語初級講座⑤	21	韓国語初級講座⑩	月	18	22		22	
火	20	17		22	英語中級講座②	火	19 英語中級講座④ 英語上級講座A②	23	英語上級講座A⑦ 天皇誕生日	23	
水	21	18		23		水	20	24		24	卒業式
木	22 中国語初級講座②	19	中国語初級講座⑥	24	地域貢献部会⑤	木	21	25	川瀬(隆)教授 自主講座	25	
金	23	20		25		金	22 英語上級講座B②	26	英語上級講座B⑦	26	春分の日
土	24	21		26		土	23	27		27	
日	25	22		27		日	24	28	天皇誕生日	28	
月	26	23	韓国語初級講座⑥	28		月	25			29	
火	27	24		29		火	26 英語中級講座⑤ 英語上級講座A③			30	
水	28	25	辻教授 自主講座(授業)	30		水	27			31	
木	29 中国語初級講座③	26	中国語初級講座⑦	31		木	28 ビンガム准教授 自主講座				
金	30	27	地域貢献部会④			金	29 英語上級講座B③ 川瀬(隆)教授 ワタリ公開講座				
土	31	28				土	30				
日		29				日	31				
月		30	韓国語初級講座⑦			月					

令和 2 (2020) 年度 オンライン公開講座

令和 2 年度 宮崎公立大学 オンライン公開講座 (WEB 会議システム Zoom を利用して配信)			
講義	日 時	講 座 演 題	講 師
第 1 回	1 月 29 日 (金) 18:30～20:00	コロナ禍 ～人間関係への脅威を乗り越える	宮崎公立大学 教授 川瀬 隆千
第 2 回	2 月 5 日 (金) 18:30～20:00	グローバル経済と脅威との両立をどのように図るか？ 米中経済デカップリングと、その日本経済に与える影響	宮崎公立大学 准教授 稲田 光朗
第 3 回	2 月 12 日 (金) 18:30～20:00	コロナ禍と日本経済	宮崎公立大学 准教授 下村 太一

講座名		宮崎公立大学 オンライン公開講座	
実施期間・回数		令和3年1月29日（金） ～ 令和3年2月12日（金） 18時30分～20時00分	全 3回
会 場		宮崎公立大学より WEB 会議システム Zoom を利用して配信	
回	講 師	タ イ ト ル	
1	宮崎公立大学 教授 川瀬 隆千	コロナ禍 ～人間関係への脅威を乗り越える	
2	宮崎公立大学 准教授 稲田 光朗	グローバル経済と脅威との両立をどのように図るか？ 米中経済デカップリングと、その日本経済に与える影響	
3	宮崎公立大学 准教授 下村 太一	コロナ禍と日本政治	
受講者負担		受講料：無料	
配付資料等		各講座資料	
募 集 定 員		50 名	
対 象 者		高校生以上	
延べ申込者数		84 名（参加申込者 各回 28 名）	

宮崎公立大学 オンライン公開講座 （ 第 1 回講座 / 全 3 回 ）		
実 施 日 時	令和 3 年 1 月 29 日（金） 18 時 30 分～20 時 00 分	
会 場	宮崎公立大学より WEB 会議システム Zoom を利用して配信	
受 講 者 負 担	受講料：無料	
対 象 者	高校生以上	
配 付 資 料	講座資料	
演 題		担 当 講 師
コロナ禍 ～人間関係への脅威を乗り越える		宮崎公立大学 教授 川瀬 隆千
講義の内容	新型コロナウイルス感染症が人間関係に及ぼす脅威を社会心理学の観点から検討する。特に、生活変化、孤立、スティグマの 3 つの脅威を取り上げ、それらの脅威をどのように乗り越えていけばよいのかを考える。	
受講申込者	28 名	
宮崎公立大学 オンライン公開講座 コロナ禍～人間関係への脅威～ を乗り越える 川瀬 隆千 宮崎公立大学		

宮崎公立大学 オンライン公開講座 （ 第 2 回講座 / 全 3 回 ）		
実 施 日 時	令和 3 年 2 月 5 日（金） 18 時 30 分～20 時 00 分	
会 場	宮崎公立大学より WEB 会議システム Zoom を利用して配信	
受 講 者 負 担	受講料：無料	
対 象 者	高校生以上	
配 付 資 料	講座資料	
演 題	担 当 講 師	
グローバル経済と脅威との両立をどのように図るか？ 米中経済デカップリングと、その日本経済に与える影響	宮崎公立大学 准教授 稲田 光朗	
講義の内容	本講座では、現代のグローバル生産構造を理解し、コロナ危機を通じて決定的になりつつある米中経済デカップリングと、その日本経済に与える影響について議論する。	
受講申込者	28 名	
グローバル経済と脅威との両立を どのように図るか —米中経済デカップリングと、 その日本経済に与える影響— 令和 2 年度 宮崎公立大学 オンライン公開講座 2021年 2月5日		

宮崎公立大学 オンライン公開講座 （ 第 3 回講座 / 全 3 回 ）		
実 施 日 時	令和 3 年 2 月 12 日（金） 18 時 30 分～20 時 00 分	
会 場	宮崎公立大学より WEB 会議システム Zoom を利用して配信	
受 講 者 負 担	受講料：無料	
対 象 者	高校生以上	
配 付 資 料	講座資料	
演 題		担 当 講 師
コロナ禍と日本政治		宮崎公立大学 准教授 下村 太一
講義の内容	近年の日本では、首相が強いリーダーシップを発揮して政策を決めていると言われてきた。ところが、コロナ禍に、首相は的確に対応できていないように見える。コロナ禍によって明らかになった日本政治の問題点を考える。	
受講申込者	28 名	
コロナ禍と日本政治 宮崎公立大学 下村太一		

宮崎公立大学 オンライン公開講座

時間：18時30分～20時（予定） WEB会議システムZoomを利用して実施します。

1月29日(金) コロナ禍 ～人間関係への脅威を乗り越える



講師：川瀬 隆千（宮崎公立大学 教授）

新型コロナウイルス感染症が人間関係に及ぼす脅威を社会心理学の観点から検討する。特に、生活変化、孤立、スティグマの3つの脅威を取り上げ、それらの脅威をどのように乗り越えていけばよいのかを考える。

キーワード → 社会心理学、人間関係



2月5日(金) グローバル経済と脅威との両立をどのように図るか？ 米中経済デカップリングと、その日本経済に与える影響



講師：稲田 光朗（宮崎公立大学 准教授）

本講座では、現代のグローバル生産構造を理解し、コロナ危機を通じて決定的になりつつある米中経済デカップリングと、その日本経済に与える影響について議論する。

キーワード → グローバル生産構造、米中経済デカップリング



2月12日(金) コロナ禍と日本政治



講師：下村 太一（宮崎公立大学 准教授）

近年の日本では、首相が強いリーダーシップを発揮して政策を決めていると言われてきた。ところが、コロナ禍に、首相は的確に対応できていないように見える。コロナ禍によって明らかになった日本政治の問題点を考える。

キーワード → 日本政治、官邸主導、リーダーシップ



受講方法

自宅で受講

WEB会議システム
Zoomを利用
(インターネット環境が必要)

ご注意ください！

Zoomによる参加が可能な方に限ります。Zoomの利用方法等について、本学による説明や技術的なサポートは致しかねます。

定員

50名

受講料

無料

通信料は各自ご負担願います。

申込方法

お申込みはEメールにて受付いたします。必要事項を本文に入力して申込受付期間中に送信してください。

メールアドレス

koza@miyazaki-mu.ac.jp

必要事項

①氏名、②年齢、③電話番号
④「公開講座を受講希望」と記載

申込受付期間

令和3年1月12日(火)～1月27日(水)

※お申し込みいただいた方全員にメールにてZoomのミーティングIDおよびパスワードをお送りします。

お問合せ先

宮崎公立大学 地域研究センター(演習会館2階) TEL：0985-20-4772（土・日、祝日を除く9:00～17:00）

宮崎公立大学
MIYAZAKI PUBLIC UNIVERSITY

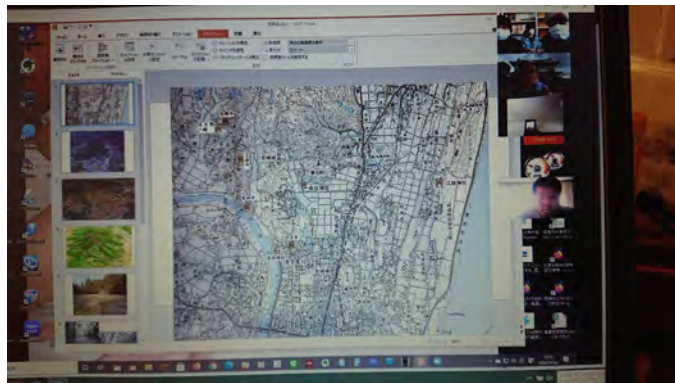
令和 2(2020)年度 自主講座申請一覧

NO.	講座・講師名	講座目的	講座内容	講座日程等
1	第4回 「地域のお宝発掘・発展・発信事業」を考えるー自走する地域創生へー 教授 永松 敦	宮崎市が推進する地域のお宝事業が4年目を迎える。今年度が自走できる地域創生への確立期となるためには、何が必要か、その実践例を考える。	ひむか神話と景清伝説の郷 大宮 エコミュージアム構想と実践 地域創生に本学の学生、サークルがどのように関わり、実践できるかを考える。	・10月3日(土) ・13:00～14:00 ・3月13日(土) ・10:00～12:00 ・全2回 ・オンライン開催 ・100人募集 ・一般市民
2	新しい小学校英語：子供たちは何を学ぶ？教師はどのように評価する？ 准教授 (現教授) 松本 祐子	今年度から全面実施の小学校「外国語科（英語科）」に関する情報を共有し、教育現場の疑問に答えること	2020年4月より小学校では教科としての外国語科（英語科）が全面的にスタートし、多くの現場ではその指導法や評価法が模索されている。本講座では新しい小学校英語のポイントを整理し、その評価方法を実践的に学ぶ。	・11月8日(日) ・13:00～15:00 ・全1回 ・30人募集 ・小学校教諭、児童保護者、大学生、教育に関心のある方

3	教育機関・地域と連携した防災教育 (第10回ストーリーウォッチング) 教授 辻 利則	将来を担う子供たちへの防災教育として、平時から災害に備えた取り組みについて、高齢者、障がい者など含めて実践活動を行い、地域の役割、自分にもできることを理解してもらい、さらに子供たちを通して若い世代の地域参加を促すことを目的とする。	小学生を対象に、教育機関と連携し、地震や津波、洪水など災害時に必要な心構え、特に普段から考えておくべきことについて講座(35人程度のクラスで4回程度)を行う。また、実際に地域の危険箇所や災害時に重要となる避難場所などを知るために調査(全体1回)を行う。調査は、地域住民、障がい者団体、そして本学の大学生を募り、最後に危険箇所、避難場所等を地図上に記入してまとめる。	・授業 11月25日(水) ・オンライン開催 ・調査 12月15日(火) 12月17日(木) ・8:00~13:00 ・180人 ・小学生、地域住民(障がい者)、大学生
4	ストレスと上手につきあう心理学 教授 川瀬 隆千	「ストレス」とは何でしょうか。よく使う言葉ですが、実はよくわかりません。私たちの身の回りのストレスについて心理学の観点から解説し、ストレスにうまく対処する方法を考えます。	ストレスに関する心理学的な理論や考え方を紹介した上で、個人によるストレスへの対処、困難な状態にある人たちへの周りの人たちからの支援、上手に助けを求める方法などのストレス対処方法とメンタルヘルスとの関係について実践的に考えます。	・12月9日(水) ・18:00~20:00 ・全1回 ・100人募集 ・一般市民

5	TOEIC のスコア を上げる秘訣 准教授 ビンガム スコット	TOEIC テストのスコア を上げる効果的方法を 受講者に紹介する。	TOEIC は英語を母国語としない者が自身の英語力を測るための最も有効な手段のひとつです。また、多くの企業や組織は雇用、又は従業員の昇進を決定する際には TOEIC のスコアを基準にします。従って、TOEIC の得点とは多くの日本人にとって“成功への道”と考えられる事が多いでしょう。 私は過去 10 年余り、宮崎公立大学に於いてこの TOEIC 準備コースを教えてきました。そして、この 10 年間学生達と TOEIC のスコアを伸ばすための大切な方法を共有してきました。このコースでは、受講者の方々にその最も重要な方法の幾つかをご紹介していきたいと思えます。また、このコースは殆ど英語で行われ、日本語は殆ど使用されないため、受講者は基本的な英会話力が必要です。 このコースはオンラインのズームによって行いますので、受講者はパソコンやタブレットを安定した Wifi 環境で使用出来ることが必要となります。ズームの使用は決して難しくはありませんが、コンピュータやオンラインビデオやチャットのソフトの知識はある程度必要となります。	・ 1 月 28 日 (木) ・ 18:00～20:00 ・ 全 1 回 ・ オンライン開催 ・ 20 人程度募集 ・ 英語のレベルアップを考えている方
---	---	---	---	---

6	「私」の中に社会が映る ～高校生のための社会心理学～ 教授 川瀬 隆千	宮崎県内の高校生に心理学や社会心理学に興味を持ってもらうため	社会心理学を中心にいくつかのトピックを紹介しながら、心理学の考え方や研究方法などを解説する。	・2月25日(木) ・18:30～20:30 ・全1回 ・オンライン開催 ・100人募集 ・県内高校生
7	宮崎平野の神楽 教授 永松 敦	宮崎市内に20余りの春神楽が伝承されている。市民に神楽の保存について関心をもっていただく。	宮崎平野の春神楽の特徴を解説し、午後は神楽を参加者が各自自主的に見学するよう促す。	・3月13日(土) ・10:00～12:00 ・全1回 ・オンライン開催 ・50人募集 ・一般市民
8	よみがえる江戸時代の宮崎 教授 大賀 郁夫	江戸時代の宮崎についての理解を深める	江戸時代の宮崎で起こった事件とその解決法を通して、江戸時代の宮崎とそこに生きた人々の価値観について考える。	・3月20日(土)～3月26日(金) ・オンデマンド配信 ・全1回 ・30人募集 ・興味のある方
9	近代文学入門 准教授 楠田 剛士	日本近代文学の歴史や読解方法について市民向けに分かりやすく解説し、文学への興味関心を高める。	外部講師を招き、参加者からのコメントや質問も受け付けながら、日本の近代文学の表現を読み味わう。	・3月20日(土)～3月26日(金) ・オンデマンド配信 ・全1回 ・100人募集 ・一般市民

講座名		第4回「地域のお宝発掘・発展・発信事業」を考える（前半部） －自走する地域創生へ－	
実施期間 回数	令和2年10月3日（土）13時00分～14時00分	全 2 回	
会場	宮崎公立大学より WEB 会議システム Zoom を利用して配信		
講師	志學館大学講師 新名 一仁 ・ 金閣寺踊保存会長 服部 律子 本学学生 杉尾 優樹		
共催者			
後援			
その他スタッフ			
受講者負担	受講料：無料		
配付資料等			
募集定員	100 名		
対象者	一般市民		
参加者数	受講申込者： 55 名 受講者数： 55 名		
【講座の内容】		【講座風景写真】	
宮崎市が主催する地域のお宝発掘・発展・発信事業が4年目、最終年度に入る。次年度以後は補助金なしで自走する活動を継続しなければならない。これまでの3年間を振り返り、今後、何を継続していくべきか、そのための財源はいかに確保するべきかを考える。 現在、主催者が担当する大宮地区をとりあげ、宮崎城主上井覚兼の研究者、新名一仁氏、地元、池内町で金閣寺踊りを保存継承される服部律子氏、本事業に初年度から関わってきた本学学生である杉尾優樹君を交えてのシンポジウムを行ったもの。 コロナ禍により、オンラインで1時間開催した。			
【講師コメント】			
今回はオンラインというかたちではあったが、大宮地区の歴史・民俗・地域資源について討論できるよい機会となった。また、視聴者も市内に限らず、他県からの参加もあり、地域づくりの問題点について幅広く共有できたいのではないかとと思われる。			

講座名		第4回 地域のお宝発掘・発展・発信事業を考える（後半部）	
実施期間回数	令和3年3月13日（土）10時10分～12時00分	全 2回	
会場	宮崎公立大学より WEB 会議システム Zoom を利用して配信		
講師	宮崎公立大学 教授 永松 敦		
共催者			
後援			
その他スタッフ			
受講者負担	受講料：無料		
配付資料等			
募集定員	100名		
対象者	一般市民		
参加者数	受講申込者： 25名 受講者数： 53名(当日参加者含む)		
【講座の内容】		【講座風景写真】	
10月3日に開催した講座の後半部。今回は、4年間の成果報告として、事業内容を記録したVTRの上映と、地域コミュニティの在り方について講義を行った。 自治会加入率が下がる今日、地域住民の概念規定をどのように図るかが重要であり、関係住民などを含めた時代に応じた新たなコミュニティ作りが急務だと説明した。 参加者は、地域創生に関わる各大学の研究者や宮崎市地域コミュニティ課からも参加され、活発な議論がなされた。		お宝事業のVTR「宮崎城を歩く」 	
【講師コメント】			
今年度で、宮崎市が4年間かけて実施した地域のお宝発掘・発展・発信事業が終了する。市内22地区でそれぞれ総額1,000万近い予算が投入されたが、何が今後に残り、影響するのかを今後5年間は観察する必要がある。ここで問題となるのは、地域協議会のありかたである。自治会加入率50パーセント以下のところが多く、それだけの税金を投入したところで市民に対して平等の効果を生み出しているのか、の疑問が残る。そして、その地域に通学・通勤する人々は含まれないのか？地域内で店舗を構えながらも、そこに居住していない人は住民ではないのか？など、「地域住民」という概念規定が曖昧なまま本事業が進められていることに懸念が生じる。 今後は、地域住民とは何か？地域協議会そのものの在り方について研究をさらに続ける必要があることを痛感した。地域コミュニティ課とも連携を図り、この議論を深めたいと考えている。			

宮崎公立大学自主講座

十五夜

主催
宮崎公立大学民俗学研究室

日中韓オンライン・シンポジウム

2020年10月3日(土)

13時～17時30分

プログラム

～ゲスト～ ZOOM

項 青(熊本県立大学)
秦 璞(広西大学外国語学院)
潘 艶 賢(広西民族大学)
김 경숙 金 敬淑
(熊本大学講師)
김 준한 金 俊漢
(元韓国EBS制作局長)
이 신혜 李 信恵
(フリーライター在日朝鮮人2・5世)

～協力～

・심정엽 沈 枉燁
심 조연오프(蔚山大学校 卒業生)
・최은영 崔 恩瑛
첸 우논(蔚山大学校 学生)
～宮崎公立大学民俗学ゼミ～
・古澤 果林
・櫻田 真由美
・橋口 美空
・佐藤 もも
・田中 里沙
・西 優里
・横山 未羽
・王 安琪(留学生)
・王 翔宇(留学生)

13時～14時
第4回「地域のお宝発掘・発展・発信事業」を考える一自走する地域創生へ
新名一仁・杉尾優樹・服部律子・永松敦
ポスター発表 コロナ禍の疫神信仰
現代民俗学受講生有志
14時～15時40分
研究成果公開助成事業
シンポジウム 東アジアの中秋節
項青・秦璞・潘艶賢・金敬淑・金俊漢・李信恵
司会 永松 敦(宮崎公立大学教授)
(10分休憩)
15時50分～16時50分
東アジアの十五夜行事
宮崎公立大学民俗学ゼミ生・韓国 蔚山大学校学生
(10分休憩)映像 南九州～沖縄地方 各地の十五夜行事
17時00分～17時30分
参加メンバーによる討論会
参加申込 jugoya_mmu@yahoo.co.jp
9月30日までに下記にメールでお申し込みください。折り返し、ZOOMのID パスワードをメールにてお知らせします。
宮崎公立大学民俗学研究室 お問い合わせ
080-6406-5493



講 座 名	「新しい小学校英語」子どもたちは何を学ぶ？ 教師はどのように評価する？	
実 施 期 間 回 数	令和2年11月8日（日） 13時00分～15時00分	全 1回
会 場	（学内）【 交流センター 多目的ホール 】	
講 師	東京学芸大学国際教育センター 特命准教授 白土 厚子 宮崎公立大学 准教授(現教授) 松本 祐子	
共 催 者		
後 援	宮崎市教育委員会	
その他スタッフ	学生アルバイト（5名）	
受講者負担	受講料：無料	
配付資料等	PPT 資料	
募 集 定 員	30名	
対 象 者	小学校教諭、児童保護者、英語教育関係者、その他	
参 加 者 数	受講申込者： 30名 受 講 者 数： 28名	
【講座の内容】	【講座風景写真】 	
【講師コメント】	新しい小学校英語教育に対する受講生の熱意やニーズを感じることができ、とても有意義な機会でした。	

宮崎公立大学自主講座

後援：宮崎市教育委員会

新しい小学校英語

子どもたちは何を学ぶ？教師はどのように評価する？

今年度より教科化された小学校英語。
その内容や評価方法を専門家が分かりやすく
解説します。



実施要綱

日時

11月8日(日曜日)
13時～15時(12時半開場)

講師

白土 厚子 オンラインによる参加
(東京学芸大学国際教育センター特命准教授)
松本 祐子
(企画・司会、宮崎公立大学准教授)

対象者

小学校教諭、児童保護者、英語教育関係者
その他、小学校英語教育に関心のある方であればどなたでも。

定員

30名 **受講料は無料です**

定員を超える申し込みがあった場合は抽選となります。

申込

事前申し込みが必要です

方 法：FAXまたはメール(番号等は申込表に記載)
必要事項：①住所、②氏名(ふりがな)
③連絡先(電話番号)

申 込 先：宮崎公立大学 地域研究センター 宛
申込期限：10月26日(月)

FAXでお申込みいただく場合は、本書下部に
ある申込表をご利用ください。

注意

コロナウイルス関連①

ご提供いただいた個人情報は本講座の運営および統計分析に使用し、これらの目的以外に使用することはありません。ただし、必要に応じ新型コロナウイルス感染症対策として保健所等公的機関に提出する場合があります。

コロナウイルス関連②

当日はマスクの着用を
お願いします。

恐れ入りますが、非着用の方は受講を
お断りさせていただきます。



ご協力をお願いします

アクセス



会場 交流センター多目的ホール(キャンパスの北側です)

申込表

FAXでのお申込み：0985-20-4773 / メールでのお申込み：koza@miyazaki-mu.ac.jp

※送信される前に、FAX番号またはメールアドレスに誤りがないか必ずご確認ください。

住 所	〒()
(ふりがな) 氏 名	
電話番号	

※携帯電話をお持ちの場合は、携帯電話番号をご記入ください。

お問合せ先 宮崎公立大学地域研究センター(運営会館2階) TEL：0985-20-4772(土・日、祝日を除く9:00～17:00)

宮崎公立大学

講座名		教育機関・地域と連携した防災教育 (第10回ストリートウォッチング)	
実施期間 回数	事前授業：令和2年11月25日（水） 地域調査：令和2年12月15日（火）、令和2年12月17日（木） 8時00分～13時00分		全 3回
会場	(学内) (学外) 【 公立大学 ⇄ 西池小 (リモート) 】 【 中央西自治区内 】		
講師	宮崎公立大学 教授 辻 利則		
共催者 後援	西池小学校、中央西まちづくり推進委員会		
その他スタッフ			
受講者負担	受講料：無料		
配付資料等			
募集定員	200名		
対象者	西池小学校関係者他		
参加者数	小学校参加者： 160名（小学生＋教員） 地域の参加者： 28名 学生： 21名		
【講座の内容】		【講座風景写真】	
本活動は、2011年より開始し、今年で10回目になる。将来を担う子供たちへの防災教育として、平時から災害に備えた取り組みを、高齢者、障がい者など含めて実践活動を行い、地域の役割、自分にもできることを理解してもらい、さらに子供たちを通して若い世代の地域参加を促すことを目的としている。 小学生を対象に、教育機関と連携し、地震や津波、洪水など災害時に必要な心構え、特に普段から考えておくべきことについて講座は、今年はコロナ禍の影響でリモートによる（4クラス）同時開催とした。 また、実際に地域の危険箇所や災害時に重要となる避難場所などを知るために調査をした。地域住民と本学の大学生で実施し、コロナ対策として4クラスを2クラスずつ2日に分けて実施した。例年は、危険箇所、避難場所等を地図上に記入してまとめたが、屋内での活動は全て行わず、代わりにタブレットを使って調査箇所を地図上に表示できるWebアプリを作成し、利用した。			
【講師コメント】			
本年度は、コロナ禍の中、実施するかどうか検討していたが、小学5年生にとってストリートウォッチングを楽しみにしていることを小学校の先生より聞き、万全な対策をして実施することとした。コロナ対策としては、3密になる屋内での活動は全て取りやめ、高齢の地域の方との接触も少なくし、地域の施設訪問でも各施設に対策をお願いした。一方、一昨年より開発したストリートウォッチングの調査用のLINE BOTを大学生が使用していたが、本年度は小学校にiPadが40台設置されたということで、小学生自身が調査データを入力できるWebアプリを開発し、実際に使用してもらった。屋内での活動はなくなったが、ある程度、調査データの整理をすることができた。本活動は継続することが大切なため、次年度も引き続き、実施したいと考えている。			

講 座 名		ストレスと上手につきあう心理学	
実 施 期 間 回 数		令和2年12月9日(水) 18時00分～20時00分	全 1回
会 場		(学内)【 交流センター 多目的ホール 】	
講 師		宮崎公立大学 教授 川瀬 隆千	
共 催 者			
後 援			
その他スタッフ			
受講者負担		受講料：無料	
配付資料等			
募 集 定 員		30 名	
対 象 者		一般市民	
参 加 者 数		受講申込者： 15 名 受 講 者 数： 11 名	
【講座の内容】 「第1部 ストレスとは何か」において、セリエのストレス学説、ホームズとレイの精神医学的ストレス理論、ラザルスの心理学的ストレス理論について説明した。 「第2部 ストレスと上手につき合う」では、ストレスプロセスとコーピング、ストレスプロセスを媒介するソーシャルサポートや楽観的説明スタイルについて説明し、ストレスと上手につきあう方法を考えた。 理論的な話だけではつまらないので、ストレスの少ない県はどこか、温泉に入ってストレスを解消するニホンザルの話、笑顔がストレスを解消する話なども取り入れて構成した。 最後に講座の感想を書いてもらった。		【講座風景写真】 	
【講師コメント】 高校生から70歳まで幅広い年齢層の参加があった。講座の感想を書いてもらったところ、「ストレスの本当の意味を理解できた」「ストレスの見方が変わった」「明日から実践していきたいことをたくさん教えていただいた」「ストレスから逃げることも大事だと分かった」「受験のプレッシャーがあるので、ストレス対処法を聞けて良かった」「ポジティブな考え方を持つことの重要性がわかった」「ストレスのない社会はないので、前向きにとらえるようにしたい」などの感想があったので、良かったと思う。「講座に参加するだけでストレスが減った気がする」という感想もあり、講座を実施すること自体に意味があると感じた。			

2020 年度
宮崎公立大学
自主講座

ストレスと上手につきあう 心理学

心理学の観点からコロナ時代の
ストレス対処法を考えます

開催日 2020年 **12月9日(水)** 18:00~20:00

会場 宮崎公立大学 交流センター 多目的ホール

講師 川瀬 隆千 宮崎公立大学教授 **参加費** 無料

申込 事前申し込みが必要です。定員30名 (応募多数の場合は抽選)

申込方法 地域研究センターへ FAX または メール でお申し込みください。
FAX 番号: 0985-20-4773
メールアドレス: mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp
必要事項 住所、氏名(ふりがな)、連絡先(携帯電話番号)をお願いします。
申込期限 11月26日(木)

注意

コロナウイルス関連①

ご提供いただいた個人情報は本講座の運営および統計分析に使用し、これらの目的以外に使用することはありません。ただし、必要に応じ新型コロナウイルス感染症対策として保健所等公的機関に提出する場合があります。

コロナウイルス関連②

当日はマスクの着用をお願いします。あられ入りますが、非着用の方は受講をお断りさせていただきます。

宮崎公立大学周辺図

交通案内

- ☐ 徒歩: JR 宮崎駅から約 25 分
- ☐ 乗用車: JR 宮崎駅から約 5 分
- ☐ バス: 宮崎交通バスにて宮交シティ(バスセンター)から約 30 分 (大学最寄りのバス停は「花殿町」「公立大学前」「江平一丁目」)

申込表

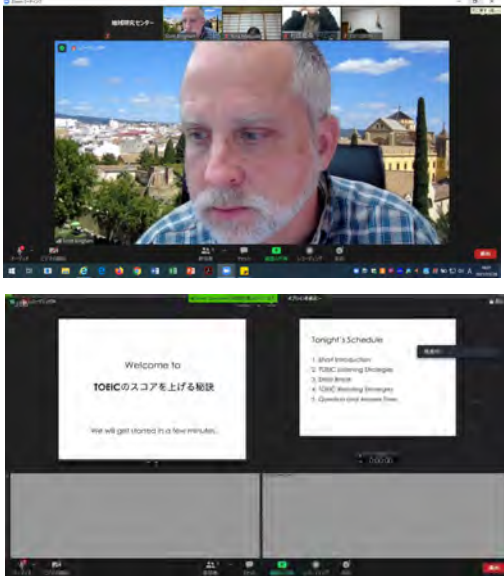
FAXでのお申込み: 0985-20-4773 / メールでのお申込み: mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp

*送信される前に、FAX番号またはメールアドレスに誤りがないか必ずご確認ください。

住所	〒()
(ふりがな) 氏名	
電話番号	

*携帯電話をお持ちの場合は、携帯電話番号をご記入ください。

お問合せ先 宮崎公立大学地域研究センター(凌霄会館2階) TEL: 0985-20-4772 (土・日、祝日を除く9:00~17:00)

講 座 名	TOEIC のスコアを上げる秘訣	
実施期間 回数	令和3年1月28日(木) 18時00分～20時00分	全 1回
会 場	宮崎公立大学より WEB 会議システム Zoom を利用して配信	
講 師	宮崎公立大学 准教授 Scott Bingham	
共 催 者		
後 援		
その他スタッフ		
受講者負担	受講料：無料	
配付資料等		
募集定員	20名	
対 象 者	TOEIC のスコアアップを目指したい方。英語力のレベルアップを目指したい方	
参加者数	受講申込者： 7名 受講者数： 5名	
【講座の内容】 This course was designed to introduce the students to the Test of English for International Communication (TOEIC). I introduced the format and expectations of the test and introduced the students to strategies for to improve their TOEIC listening and reading scores. The course was conducted online via Zoom.		【講座風景写真】 
【講師コメント】 Although I had prepared several weeks for this course, there were several technical problems that occurred during the course. The students were very active and forgiving of the time that was taken to resolve the technical issues. I have been using Zoom for over 12 months now and this was the first time I had ever had such technological challenges. In order to make up for these problems, instructional videos covering the points that were missed in the online course have been uploaded to the course Moodle site.		

宮崎公立大学自主講座

TOEIC のスコアを上げる 秘訣!



講師
Scott Bingham
(宮崎公立大学准教授)

2021 年
1月28日 Thursday
PM 6:00 ~ PM 8:00

ONLINE!! (Zoom)

Zoom をご利用いただけない方はお申し込みいただくことができません。

対象者

TOEIC のスコアアップを目指したい方。
英語力のレベルアップを目指したい方。

募集人数

20 名 (応募者多数の場合は抽選)

TOEIC は、英語を母国語としない者が自身の英語力を測るための最も有効な手段のひとつです。また、企業や組織は雇用、または従業員の昇進を決定する際に TOEIC のスコアを基準にする場合があります。

私は過去 10 年あまり、TOEIC 準備コースを教えてきました。その中で学生達とスコアを伸ばすための大切な方法を共有してきました。この講座では、その最も重要となる方法のいくつかを紹介したいと思います。

ATTENTION

この講座は基本的には英語のみで実施され、日本語はほとんど使用されません。

受講いただくには、
基礎的な英会話力が必要です。

お申し込みについて

申込先

宮崎公立大学地域研究センター

お申し込み方法

E-mail にて本文に下記の必要事項を入力し、
送信してください。
(mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp)

必要事項

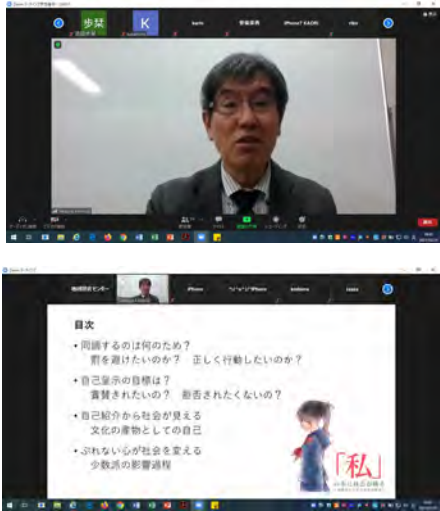
- ①住所 ②氏名 (ふりがな)
- ③連絡先 (電話番号)
- ④講座名 (「TOEIC 講座を受講希望」と入力)

申込期限

2021 年 1 月 15 日 (金)

お問い合わせ先

宮崎公立大学地域研究センター TEL : 0985-20-4772 (土・日・祝日を除く 9:00 ~ 17:00)

講 座 名	「私」の中に社会が映る～高校生のための社会心理学～	
実 施 期 間 回 数	令和3年2月25日（木） 18時30分～20時30分	全 1 回
会 場	宮崎公立大学より WEB 会議システム Zoom を利用して配信	
講 師	宮崎公立大学 教授 川瀬 隆千	
共 催 者		
後 援		
その他スタッフ		
受講者負担	受講料：無料	
配付資料等		
募 集 定 員	オンラインのため、申込者全員受講可能	
対 象 者	高校生	
参 加 者 数	受講申込者： 61 名 受 講 者 数： 52 名	
【講座の内容】 本講座は高校生を対象に、個人と社会の関係について解説したものである。 「私」は社会の産物である。「私」は周りの人々や文化の影響を受けて作られる。そして、そのようにして作られた「私」が、今度は周りの人々や社会に影響を及ぼす。このように、「私」と「社会」は密接につながっている。 本講座では、社会心理学の考え方や研究方法の解説も交えながら、「私」と「社会」の関係について、特に、同調、自己呈示、文化的自己観、少数派影響の4つの観点から検討した。 進路情報なども提供しながら、社会の一員として責任を果たしながら、社会をより良い方向に変えていくことについて考えを深めた。		
【講座風景写真】 		
【講師コメント】 本講座はオンラインで実施した。木曜日の夕方という時間であったが、宮崎県内を中心に 50 人以上の高校生の参加があった。多くは1年生、2年生だったが、3年生の参加もあった。 心理学に興味を持っている生徒も多かったようで、参加者はたいへん熱心に講義を聞いてくれた。内容に関する質問も多く寄せられた。「2 時間があっという間だった」「普段聞けない専門の話を聞けて、とてもためになった」という感想もあり、参加者は満足できたようである。また、2 月末の実施であったが、進学先など進路を考えるきっかけにもなったようである。「機会があれば、またこのような講座を実施して欲しい」と言う声もあった。次の開催を検討したいと思う。		



「私」

の中に社会が映る
～高校生のための社会心理学～

令和3年

2月25日(木曜日)

時間：18時30分～20時30分

*高校生のみを対象とした講座です。



高校生に心理学や社会心理学に興味を持ってもらうための、
体験授業的な講座です！

「私」は社会の産物です。「私」は周りの人々や文化の影響を受けて作られるのです。そして、そのようにして作られた「私」が、今度は周りの人々や社会に影響を及ぼします。社会心理学の考え方や研究方法の解説も交えながら、私と社会の関係を探り、「私とは何か？」を考えます。

講師 川瀬 隆子 宮崎公立大学 教授

受講方法

自宅で受講

WEB会議システム
Zoomを利用

(インターネット環境が必要)

ご注意ください！

Zoomによる参加が可能な方に限り
ます。Zoomの利用方法等について、本
学による説明や技術的なサポートは致
しかねます。

定員

定員は設けません。
お申し込みいた
いた方は全員受講
が可能です。

受講料

無料

通信料は各自負担願います。

申込方法

お申込みはEメールにて受付いたします。
必要事項を本文に入力して申込受付期間中に
送信してください。

メールアドレス

mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp

必要事項

①氏名、②高校名、③学年、④電話番号
⑤本文に「心理学講座を受講希望」と記載

申込受付期間

令和3年1月25日(月)～2月24日(水)

*お申し込みいただいた方全員にメールにてZoomの
ミーティングIDおよびパスワードをお送りします。

お問合せ先

宮崎公立大学地域研究センター(凌雲会館2階) TEL：0985-20-4772 (土・日、祝日を除く9:00～17:00)

講座名		宮崎の神楽—山間部と平野部の比較研究—	
実施期間 回数	令和3年3月13日（土）13時30分～16時00分	全 1 回	
会場	宮崎公立大学より WEB 会議システム Zoom を利用して配信		
講師	宮崎公立大学 教授 永松 敦		
共催者			
後援			
その他スタッフ			
受講者負担	受講料：無料		
配付資料等			
募集定員	100 名		
対象者	一般市民		
参加者数	受講申込者： 20 名 受講者数： 46 名(当日参加者含む)		
【講座の内容】		【講座風景写真】	
宮崎の神楽を山間部と平野部に分けて、その特色を解説した。山間部の狩猟の山の神信仰と女性との関係、平野部の田の神信仰と翁面との関係を多くの映像、写真資料でもって解説し、姥から翁か、翁から姥への変化なのかについて問題提議を行った。 神楽、および、東アジア文化の基礎的知識のために、陰陽五行説、十干十二支の説明を 30 分程度行ったので、時間は予定よりも延長した。オンラインのため全国各地からの参加者が多く見受けられた。			
【講師コメント】			
陰陽五行、十干十二支は日本文化を語る上での基礎知識として必要である。正午の意味を知らない人多すぎる。以前、開放授業でこの話をしたときに、小学校の校長先生を退職された方が感動されて、子供たちにこの話をするべきだったと後悔されていたのが今も強く印象に残っている。日本の教育そのものに問題があるからだ。 四季と色の関係。北原白秋の白と秋。若者用語のように思われている青春の青と春は、すべて中国の思想から東アジア全域に伝えられた文化で最も基本的な知識である。神楽歌などにも歌われることも多く、このような文化の基礎知識から東アジア全体をみる素地ができればと考えている。聴講者は facebook で呼びかけた方々が多く、さらに、参加者は増加すると思われる。スマホ一台あれば参加できるので、高齢者の方々もご家族といっしょに楽しんでいただければ、と思っている。今後も続けたい。			

講 座 名	よみがえる江戸時代の宮崎	
実施期間 回数	令和3年3月20日（土）～ 令和3年3月26日（金）	7日間(全2回)
会 場	宮崎公立大学公式 YouTube チャンネルより動画配信	
講 師	宮崎公立大学 教授 大賀 郁夫	
共 催 者		
後 援		
その他スタッフ		
受講者負担	受講料：無料	
配付資料等	なし	
募集定員	20 名	
対 象 者	一般市民	
参加者数	受講申込者： 21 名 受講者のべ再生回数・・・（ 前半 54 回 ・ 後半 19 回 ）	
【講座の内容】 今回の講座は、「犯罪」という視点から江戸時代の宮崎を対象に、江戸時代に生きた人々の価値観や人生観・生き方などについて考えた。事例として、①宝暦7年臼杵郡岡富村傷害事件、②宝暦7年伊東房右衛門の女敵討ち、③寛政4年宮崎郡古城村での酒乱殺人事件、④寛政6年臼杵郡古江村帳外人弥兵衛仕置き一件をとりあげた。そこでは自分の「一分」を立てることが優先される社会であり、被害者も「是非無し」との無常観念があったことがわかった。現在からすると江戸時代は全くの「異文化社会」であり、それを理解することが現在の「異文化間コミュニケーション」能力の習得に繋がる。		【講座風景写真】 
【講師コメント】 今回の講座はコロナ禍のなかで、オンデマンドでの配信になった。受講者の反応がまったく伝わらないため、どれだけ理解できたかは不明である。繰り返し受講できるので、不明な点は復習しながら理解して欲しい。江戸時代は身分制社会であり、まさに「異文化社会」である。それぞれの階層ではその価値観や生き方もそれぞれ異なる。現在に軸足を置きながら、江戸時代に生きた人々と「コミュニケーション」がとれるようになりたいものである。		

自主講座チラシ
(受講者募集時に使用)



宮崎公立大学 自主講座

よみがえる江戸時代の宮崎

江戸時代の宮崎で起こった事件とその解決法を通して、
江戸時代の宮崎とそこに生きた人々の価値観について考えてみましょう。

=====
ご注意：本講座は、県内の感染状況(警報レベル)の変動に応じ中止又は延期となる場合があります。

令和3年
2月20日(土曜日)
時間：10時～12時
会場：宮崎公立大学交流センター
(多目的ホール)



講師
大賀 郁夫 教授
宮崎公立大学 教授

江戸時代の宮崎について、理解を深めてみませんか？

申込方法

FAX、郵送またはEメールにてお申し込みください。

FAX
0985-20-4773

郵送
〒880-8520
宮崎市船塚1丁目58番地

メールアドレス
mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp

記載事項
①住所、②氏名、③年齢、④電話番号
⑤「江戸時代の宮崎を受講希望」と記載

申込受付期間
令和3年1月20日(水)～2月14日(日)

*受講者の決定は郵送にて2月12日頃にお知らせします。

定員
20名
程度

受講料
無料

コロナウイルス関連①

ご提供いただいた個人情報は本講座の運営および統計分析に使用し、これらの目的以外に使用することはありません。ただし、必要に応じ新型コロナウイルス感染症対策として保健所等公的機関に提出する場合があります(参加者のみ)。

コロナウイルス関連②

当日はマスクの着用をお願いします。

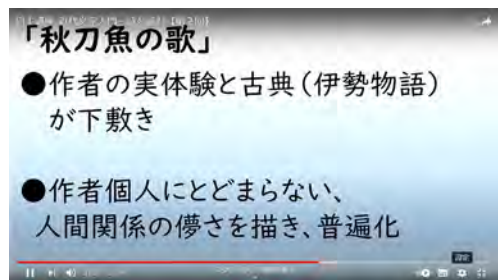
恐れ入りますが、非着用の方は受講をお断りさせていただきます。

ご協力をお願いします



お問合せ先

宮崎公立大学地域研究センター(凌霄会館2階) TEL：0985-20-4772 (土・日、祝日を除く9:00～17:00)

講座名		近代文学入門-詩を読む-	
実施期間 回数	令和3年3月20日(土)～令和3年3月26日(金)	7日間(全4回)	
会場	宮崎公立大学公式 YouTube チャンネルより動画配信		
講師	宮崎公立大学 准教授 楠田 剛士		
共催者			
後援			
その他スタッフ			
受講者負担	受講料：無料		
配付資料等			
募集定員	20名		
対象者	一般市民		
参加者数	受講申込者： 9名 受講者のべ再生回数 (第1回 30回 ・ 第2回 24回 ・ 第3回 9回 ・ 第4回 27回)		
【講座の内容】		【講座風景写真】	
近代の有名な詩人・詩作品を取り上げ、受講者が詩の読解方法を学びながら詩に親しむことを目的に講座を行った。佐藤春夫「秋刀魚の歌」では作者の実体験を下敷きにしつつも、古典を導入することで個人にとどまらない問題を提起していることを指摘した。高村光太郎「レモン哀歌」でも作者の実体験だけではなく、見えないものを表現する詩の特徴をとらえた。草野心平「秋の夜の会話」と安西冬衛「春」では、作中の文字表記・字形・発音の重要性について説明した。コクトー「シャボン玉」では、原詩と比較しながら翻訳詩の持つ創造性について論じた。		 	
【講師コメント】			
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定していた対面の講座からオンラインによるビデオ配信の形に変更した。15～20分程度の動画を4本作成し、受講生がトピックを把握しやすくした。またパワーポイントによる説明だけではなく、参考資料を映したり、関連する詩集を紹介したりして受講者の関心が広がるように務めた。受講生と直接やりとりすることはできなかったが、アンケート結果をもとに今後も工夫した企画を行いたい。			

宮崎公立大学自主講座 (受講無料・託児あり)

近代文学入門

—— 詩を読む ——

日本の近代詩について読み、文学の魅力を再発見します

講 師：楠田 剛士（宮崎公立大学准教授、日本近現代文学）

日 時：2021年2月20日（土）13時～15時（12時半開場）

会 場：宮崎公立大学 交流センター・多目的ホール

会場入場時の検温及び講座受講時のマスク着用等のコロナウイルス
感染症拡大防止対策にご協力ください。

対象・定員：一般市民・20名

申込方法：氏名（ふりがな）、住所、電話番号を、郵送・FAX またはメールで地域研
究センターまでお申し込みください。（当日参加も可能です）

締 切：2021年2月9日（火）

無料託児について

交流センター内に無料託児所を準備します。託児希望の方は、
お子様の氏名と年（月）齢を明記の上、2月9日（火）までにお申し込みください。

問合せ・申込先 宮崎公立大学地域研究センター

〒880-8520 宮崎市船塚1丁目58番地

電話：0985-20-4772・FAX：0985-20-4773

E-mail：mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp

※お申し込みの際にいただいた個人情報については適切に管理し、目的以外で使用することはありません。
※本講座は、県内の感染状況（警報レベル）の変動に応じ中止又は延期となる場合があります。

令和 2(2020)年度 オンライン語学講座

※各講座とも WEB 会議システム Zoom を利用

No.	講 座 名	講 師	講 座 内 容	日 程
1	英語上級 A コース	宮崎公立大学 非常勤講師 李 世恩	全 7 回開講 英検 2 級程度のスピーキング力があり、英語でのディスカッションやディベートに進んで参加できる方。 募集定員 6 名程度 毎回異なるトピックについて調べ、ミニプレゼンテーションをした後、受講生同士でディスカッションを行います。英語をツールとして使用しながら色々な知識に疑問を持ち、意見や考えを発展させていきます。	令和 3 年 1 月 12 日～ 2 月 23 日 毎週火曜日 18 時 30 分～ 19 時 30 分
2	英語上級 B コース	宮崎公立大学 准教授 (現教授) 松本 祐子	全 7 回開講 英検 2 級程度のスピーキング力があり、英語でのディスカッションやディベートに進んで参加できる方。 募集定員 6 名程度 基本的にディベート形式（ただし勝敗を競うものではない）で行い、毎回異なるトピックについて「賛成・反対」の立場から議論をします。英語の議論に積極的に参加し、発展させる技術を学びます。内容によっては、参考文献（短い英文）を予習してもらう可能性もあります。	令和 3 年 1 月 15 日～ 2 月 26 日 毎週金曜日 18 時 30 分～ 19 時 30 分

3	英 語 中 級	宮崎公立大学 准教授 スコットビンガム Scott Bingham	全 8 回開講 英語の基礎、簡単な会話ができる人 を対象に受講者を募集。 募集定員 30 名程度。 その時々話題を講師が英語で伝 え、講座生がその話題を各グループ に分かれて英語でディスカッショ ンします。	令和 2 年 12 月 15 日～ 令和 3 年 2 月 16 日 毎週火曜日 18 時 30 分～ 19 時 30 分
4	中国語初級	宮崎公立大学 日中文化 交流促進部 (学内課外活動団体)	全 10 回開講 中国語を初めて学ぶ人を対象に受 講者を募集。 募集定員 30 名。 留学経験をもつ学生や中国からの 留学生、中国語を学ぶ学生たちが講 師役になり、発音の基礎から簡単な 会話が理解できるまでを学ぶ。	令和 2 年 10 月 15 日～ 12 月 17 日 毎週木曜日 18 時 00 分～ 19 時 30 分
5	韓国語初級	宮崎公立大学 韓国文化研究部 (学内課外活動団体)	全 10 回開講 +10 回オンデマンド配信 韓国語を初めて学ぶ人を対象に受 講者を募集。 募集定員 30 名。 ハングルの発音基礎から始めて、簡 単な日常会話までを学びます。 ※金曜日にオンデマンドで一部講 座を配信し、翌週月曜日に質疑応答 等をライブで行う。	令和 2 年 10 月 12 日～ 12 月 21 日 毎週月曜日 質疑応答 毎週金曜日 オンデマンド 配信 18 時 00 分～ 19 時 30 分

講座名		オンライン語学講座 英語上級（Aコース）	
実施期間等		令和3年1月12日 ～ 令和3年2月23日 ＊ 毎週火曜日 18時30分～19時30分	全 7回
会場		宮崎公立大学より WEB 会議システム Zoom を利用して配信	
講師		宮崎公立大学 非常勤講師 李世恩	
受講者負担		受講料：無料	
募集定員		6名程度 (応募条件 高校生以上、英検2級程度のスピーキング力があり、英語でのディスカッションやディベートに進んで参加できる方)	
受講者数		2名 ＊応募者全員受講 受講者延べ数： 8名	
【講座内容】 毎回異なるトピックについて調べ、ミニプレゼンテーションをした後、受講生同士でディスカッションを行います。英語をツールとして使用しながら色々な知識に疑問を持ち、意見や考えを発展させていきます。			
【受講生からのコメント】 ・ 初日を除いて私一人の受講で寂しさ少し、世恩先生を独り占め、マンツーマンでのご指導を頂けたこと、とてもラッキーでした。テーマ也多岐にわたり、とても有意義で刺激的な時間を過ごすことができました。感謝申し上げます。ありがとうございました。 ・ また開催されます際にはぜひ参加させていただきたく、よろしくお願い申し上げます。			

講 座 名		オンライン語学講座 英語上級（B コース）	
実施期間等		令和3年1月15日 ～ 令和3年2月26日 ＊ 毎週金曜日 18時30分～19時30分	全 7回
会 場		宮崎公立大学より WEB 会議システム Zoom を利用して配信	
講 師		宮崎公立大学 准教授(現教授) 松本 祐子	
受講者負担		受講料：無料	
募集定員		6名程度 (応募条件 高校生以上、英検2級程度のスピーキング力があり、英語でのディスカッションやディベートに進んで参加できる方)	
受講者数		7名 ＊応募者全員受講 受講者延べ数： 40名	
【講座内容】 基本的にディベート形式（ただし勝敗を競うものではない）で行い、毎回異なるトピックについて「賛成・反対」の立場から議論をします。 英語の議論に積極的に参加し、発展させる技術を学びます。内容によっては、参考文献（短い英文）を予習してもらう可能性もあります。			
【受講生からのコメント】 ・ 内容もとても楽しく充実した講座で受講して良かったです。また、大学外、宮崎県外からの参加者と英語で意見交換することはあまりないのでオンラインにより新たな交流ができて良かったです。 ・ 形式英語講座は、賛成、反対の立場から、話すので、英語らしい表現や、主張の仕方を学べるので、興味がわきました。英語を話すこと自体、いつもディベートをしている感があります。資料を事前に頂きましたので、理解を深めた上で、話し合えたのが良かったです。その都度、質問にも丁寧に対応していただき感謝しております。議題によっては、話すことも多く、1時間は短くも思いました。 どうもありがとうございました。			

宮崎公立大学 オンライン語学講座

英語上級



英語で話す力を
より高めたい方に
おすすめの講座
です！

対象者

- 高校生以上の方
- 英検2級程度のスピーキング力がある方
- 英語でのディスカッションやディベートに進んで参加できる方

自宅で受講

WEB会議システム ZOOMを利用



ご注意

Zoomによる参加が可能の方に限ります。
Zoomの利用方法などについて、本学による説明や技術的なサポートは致しかねます。

少人数指導

各コース6名程度 (応募多数の場合は抽選)

受講料無料

ご注意

講座を視聴するための通信料（インターネット料金）は、受講生の負担となります。

2つのコースを用意

Aコース

講師 李 世恩（宮崎公立大学 非常勤講師）
日程 1月12日（火）から連続7回
毎週火曜日
時間 18：30～19：30

毎回異なるトピックについて調べ、ミニプレゼンテーションをした後、受講生同士でディスカッションを行います。英語をツールとして使用しながら色々な知識に疑問を持ち、意見や考えを発展させていきます。

Bコース

講師 松本祐子（宮崎公立大学 准教授）
日程 1月15日（金）から連続7回
毎週金曜日
時間 18：30～19：30

基本的にディベート形式（ただし勝敗を競うものではない）で行い、毎回異なるトピックについて「賛成・反対」の立場から議論をします。英語の議論に積極的に参加し、発展させる技術を学びます。内容によっては、参考文献（短い英文）を予習してもらう可能性もあります。

ひとつのトピックを多角的に分析する力や、自分の知識や意見を効果的に英語で話す方法を学びます。



配信方式について

ライブ配信方式

ライブ配信方式では、本学で実施している講座内容を受講生の自宅にてリアルタイムに受講でき、双方向コミュニケーションが可能です。今回の講座ではWEB会議システム「Zoom」を利用し、全てライブ配信方式で実施します。



Zoomは無料で利用できます（有料版の購入は必要ありません）。インストールの方法等はZoomのウェブサイトをご確認ください。

▼通信機器の準備が必要です

本講座を受講するには、インターネットに接続されたパソコン、タブレットまたはスマートフォンを各自で準備いただく必要があります。また、タブレットまたはスマートフォンをご利用の場合は、WiFi接続をお勧めいたします。



スケジュール（予定）

日	月	火	水	木	金	土
					2021年1月	1 2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
	2021年2月	1	2	3	4	5
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

Aコース全7回 Bコース全7回

受講のお申込みについて

必ずご確認ください

以下の確認について、1つでも「NO」に当てはまる場合はお申込みいただけません。

ご自宅にはインターネットに接続できる環境がありますか？

☐ YES ☐ NO

パソコン、タブレットまたはスマートフォンなどの通信機器をお持ちであり、ご自身でそれらの機器の操作が行えますか？

☐ YES ☐ NO

Zoomの操作、利用ができますか？
（これから学ぼうとされている方はYESに該当します）

☐ YES ☐ NO

申込方法

お申込みはEメールにて受付いたします。
必要事項を本文に入力して申込受付期間中に送信してください。

メールアドレス

mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp

必要事項

①住所、②氏名、③年齢、④電話番号、⑤希望のコース（AまたはB）を記載
ご提供いただいた個人情報は本講座の運営および統計分析に使用し、これらの目的以外に使用することはありません。

申込受付期間

令和2年12月10日（木）～12月27日（日）
※受講者の決定はメールまたは郵送にて1月5日頃にお知らせします。

お問合せ先

宮崎公立大学 地域研究センター（読書会館2階） TEL：0985-20-4772（土日祝日を除く9：00.～17：00）

講座名		オンライン語学講座 英語中級	
実施期間等		令和2年12月15日 ～ 令和3年2月16日 ＊ 毎週火曜日 18時30分～19時30分	全 8回
会場		宮崎公立大学より WEB 会議システム Zoom を利用して配信	
講師		宮崎公立大学 准教授 Bingham Scott (ビンガム スコット)	
受講者負担		受講料：無料	
募集定員		30名程度 (応募条件 高校生以上、英語の基礎、簡単な会話ができる人を対象に受講者を募集)	
受講者数		25名 ＊応募者全員受講 受講者延べ数： 124名	
【講座内容】 その時々話題を講師が英語で伝え、講座生がその話題を各グループに分かれて英語でディスカッションします。			
【受講生からのコメント】 ・ 画面越しだからこそ、きちんとした英語を話さないと伝わりにくい部分があるので、より一層勉強に励むことができました。 ・ 移動時間も少なく、仕事終わりにどの場所からでも参加できるのも良かったです。 ・ 従来の教室での講義よりも、私には大変分かりやすかったです。難聴なのでオンラインでの授業の方がイヤホンや目の前のスピーカーではっきりと聞こえるので、よりわかりやすかったと思います。			

宮崎公立大学オンライン語学講座

英語中級



講師
ビンガム スコット
BINGHAM Scott
宮崎公立大学 准教授

自宅で受講

WEB会議システム
Zoomを利用します



(インターネット環境が必要)

ご注意

Zoomによる参加が可能な方に限ります。
Zoomの利用方法等について、本学による
説明や技術的なサポートは致しかねます。

募集人数

30名程度

(応募多数の場合は抽選)

受講料無料

ご注意

講座を視聴するための通信料（イン
ターネット料金）は、受講生の負担と
なります。

配信方式について

ライブ配信方式

ライブ配信方式では、本学で実施して
いる講座内容を、受講生の自宅にてリ
アルタイムに受講でき、双方向コミュ
ニケーションが可能です。今回の講座
ではWEB会議システム「Zoom」を利用
し、全てライブ配信方式で実施しま
す。



Zoomは無料で利用できま
す（有料版の購入は必要あ
りません）。インストール
の方法等はZoomのウェブ
サイトをご確認ください。

通信機器の準備が必要です

本講座を受講するには、イン
ターネットに接続された
パソコン、タブレットまた
はスマートフォン（いづれ
かを各自準備いただく必
要があります。また、タブ
レットまたはスマートフォン
をご利用の場合は、Wi-
Fi接続をお勧めいたします。



対象者

- 一高校生以上の方
- 一簡単な日常英会話ができる方
- 一ディスカッションに進んで
参加できる方

英語を使ったコミュニケーションの場
を多く設けますので、英語が全くでき
ないという方はご遠慮ください。

スケジュール(予定)

日	月	火	水	木	金	土
	12月	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
2月	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20

全8回

受講のお申込について

必ずご確認ください

以下の確認事項について、1つでも
「NO」に当てはまる場合はお申込
みいただけません。

ご自宅にはインターネットに接続で
きる環境がありますか？

☐ YES ☐ NO

パソコン、タブレット又はスマート
フォンなどの通信機器をお持ちで
あり、ご自身でそれらの機器の操作が
行えますか？

☐ YES ☐ NO

Zoomの操作、利用ができますか？
(これから学ばうとされている方はYES
に該当します)

☐ YES ☐ NO

申込方法

お申込みはEメールにて受付いたします。
必要事項を本文に入力して申込受付期
間中に送信してください。

メールアドレス
mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp

必要事項

①住所、②氏名、③年齢、④電話番号
⑤「英語講座を受講希望」と記載
ご提供いただいた個人情報は本講座の運営および統
計分析に使用し、これらの目的以外に使用すること
はありません。

申込受付期間

令和2年11月4日(水)～11月29日(日)

*受講者の決定はメール又は郵送にて
12月4日頃にお知らせします。



講師から与えられ
た話題について、各
グループに分かれ
てのディスカッショ
ン(英語)が中心と
なります。
英語で話せる力を
身に養いましょう!

お問合せ先

宮崎公立大学 地域研究センター(運営会館2階) TEL: 0985-20-4772 (土・日、祝日を除く9:00～17:00)



講座名		オンライン語学講座 中国語初級	
実施期間等	令和2年10月15日 ～ 令和2年12月17日 ＊ 毎週木曜日 18時30分～19時30分		全 10回
会場	宮崎公立大学より WEB 会議システム Zoom を利用して配信		
講師	宮崎公立大学 日中文化交流促進部 （学内課外活動団体）		
受講者負担	受講料：無料		
募集定員	10名程度 (応募条件 高校生以上、中国語を初めて学ぶ人を対象に受講者を募集。)		
受講者数	10名 ＊応募者11名 1名キャンセル 受講者延べ数： 58名		
【講座内容】 留学経験のある学生や中国からの留学生、中国語を学ぶ学生たちが講師役になり、発音の基礎から簡単な会話が理解できるまでを学ぶ。			
【受講生からのコメント】 ・ コロナ禍でもあり、通常の授業もある中で講演の準備・シラバス作りさらに進行と大変だったと思います。3人の学生さんも留学生の方も、しっかり教えていこうとの思いがすごく感じられました。いつも笑顔で、優しくそしていてねいに教えていただいたので素晴らしいと思います。来年はいつものように対面での講座ができることを期待します。 ・ 受講する前に独学で勉強していたのですが、基本的な発音の仕方や表記の仕方などが詳しく知れたので良かったです。			

宮崎公立大学オンライン語学講座

中国語初級



自宅で受講

WEB会議システム
Zoomを利用
(インターネット環境が必要)



ご注意

Zoomによる参加が可能なのに限り。Zoomの利用方法等について、本学による説明や技術的なサポートは致しかねます。

少人数指導

募集人員10名程度
(応募多数の場合は抽選)



全てライブでの配信となるため、受講生と講師との双方向性コミュニケーションが可能です。

受講料無料

学生の手作りテキストを使うのでテキスト代も必要ありません。



ご注意

講座を視聴するための通信料(インターネット料金)は、受講生の負担となります。

配信方式について

ライブ配信方式

ライブ配信方式では、本学で実施している講座内容を、受講生の自宅にてリアルタイムに受講でき、双方向コミュニケーションが可能です。今回の講座ではWEB会議システム「Zoom」を利用し、全てライブ配信方式で実施します。



Zoomは無料で利用できます(有料版の購入は必要ありません)。インストールの方法等はZoomのウェブサイトをご確認ください。

通信機器の準備が必要です

ライブ配信、オンデマンド配信のいずれもインターネットに接続されたパソコン、タブレットまたはスマートフォンのいずれかを各自で準備いただく必要があります。また、タブレットまたはスマートフォンをご利用の場合は、Wi-Fi接続をお勧めいたします。



スケジュール(予定)

10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

- … オリエンテーション (1回)
18:00~18:30
- … 講座・質疑応答 (10回)
18:00~19:30

受講のお申込について

必ずご確認ください

以下の確認事項について、1つでも「NO」に当てはまる場合はお申込みいただけません。

ご自宅にはインターネットに接続できる環境がありますか?

☐ YES ☐ NO

パソコン、タブレット又はスマートフォンなどの通信機器をお持ちであり、ご自身でそれらの機器の操作が行えますか?

☐ YES ☐ NO

Zoomの操作、利用ができますか?
(これから学ぼうとされている方はYESに該当します)

☐ YES ☐ NO

申込方法

お申込みはEメールにて受付いたします。必要事項を本文に入力して申込受付期間中に送信してください。

メールアドレス
koza@miyazaki-mu.ac.jp

必要事項

①住所、②氏名、③年齢、④電話番号
⑤「中国語講座を受講希望」と記載
ご提供いただいた個人情報は本講座の運営および統計分析に使用し、これらの目的以外に使用することはありません。

申込受付期間

令和2年9月1日(火)~9月25日(金)

*受講者の決定はメール又は郵送にて
9月30日頃にお知らせします。



発音基礎から
始めて、簡単な
日常会話までを
学びましょう!

お問合せ先

宮崎公立大学地域研究センター(講堂会館2階) TEL: 0985-20-4772 (土・日、祝日を除く9:00~17:00)

宮崎公立大学
MIYAZAKI PUBLIC UNIVERSITY

講座名		オンライン語学講座 韓国語初級	
実施期間等	令和2年10月12日 ～ 令和2年12月21日 ＊ 毎週月曜日オンライン 18時30分～19時30分 ＊ 毎週金曜日オンデマンド配信	全 10回	
会場	宮崎公立大学より WEB 会議システム Zoom を利用して配信		
講師	宮崎公立大学 韓国文化研究部 （学内課外活動団体）		
受講者負担	受講料：無料		
募集定員	10名程度 （応募条件 高校生以上、韓国語を初めて学ぶ人を対象に受講者を募集）		
受講者数	25名 ＊応募者全員受講 受講者延べ数： 77名（月曜日のオンライン参加者） ※金曜日のオンデマンド配信を見て、月曜日のオンライン質疑応答に参加していない講座生が多くみられた。		
【講座内容】 ハングルの発音基礎から始めて、簡単な日常会話までを学びます。 ※金曜日にオンデマンドで一部講座を配信し、翌週月曜日に質疑応答等をライブで行う。			
【受講生からのコメント】 ・ なかなか学校との時間との調整ができず、参加日数が少なくなりましたが、韓国の文化や食べ物、場所などメジャーなものからローカルなものまでを紹介してくださりと、とても面白かったです。 ・ 毎回、分かりやすく丁寧に教えてくださりありがとうございました。動画での講座だったので、復習もできました。ただ、月曜の Zoom には残業に追われ、一回しか参加できなかったのが悔やまれます。参加できた回は、韓国のカフェの紹介でした。コロナ禍を世界で乗り越えられたら、韓国旅行を楽しみたいです。それまでに韓国語の勉強を続けます。			

宮崎公立大学オンライン語学講座 韓国語初級



自宅で受講

WEB会議システム
Zoomを利用
(インターネット環境が必要)



ご注意

Zoomによる参加が可能の方に限ります。
Zoomの利用方法等について、本学による
説明や技術的なサポートは致しかねます。

少人数指導

募集人員10名程度
(応募多数の場合は抽選)



動画の視聴とライブ配信による授業の併用
となります。ライブ配信時には受講生と講
師とのコミュニケーションが可能です。

受講料無料

学生の手作りテキストを
使うのでテキスト代も
必要ありません。



ご注意

講座を視聴するための通信料（イン
ターネット料金）は、受講生の負担と
なります。

配信方式の違い

ライブ配信方式

ライブ配信方式では、本学で実施して
いる講座内容を、受講生の自宅にてリ
アルタイムに受講でき、双方向コミュ
ニケーションが可能です。今回の講座
ではWEB会議システム「Zoom」を利用し、オリエンテーション及び質疑応
答をライブ配信方式で実施します。



Zoomは無料で利用できま
す（有料版の購入は必要あ
りません）。インストール
の方法等はZoomのウェブ
サイトをご確認ください。

オンデマンド配信方式

オンデマンド配信方式では、予めサー
バーにアップロードしてある講座の動
画ファイルを、指定された期間内に受
講生がアクセスすることで視聴するこ
とができます。録画された動画なので、
繰り返し視聴することができ、学びを
深めることが可能です。

▼ 通信機器の準備が必要です

ライブ配信、オンデマンド
配信のいずれもインター
ネットに接続されたパソコ
ン、タブレットまたはス
マートフォンのいずれかを
各自ご準備いただく必要が
あります。また、タブレッ
トまたはスマートフォンを
ご利用の場合は、Wi-Fi接
続をお勧めいたします。



スケジュール(予定)

10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

- ... オリエンテーション ライブ
18:00～18:30
- ... 講座動画配信 オンデマンド動画
動画公開時間や視聴方法は別途お知らせ
- ... 質疑応答 ライブ
18:00～19:00

受講のお申込について

必ずご確認ください

以下の確認事項について、1つでも
「NO」に当てはまる場合はお申込
みいただけません。

ご自宅にはインターネットに接続で
きる環境がありますか？

☐ YES ☐ NO

パソコン、タブレット又はスマート
フォンなどの通信機器をお持ちで
あり、ご自身でそれらの機器の操作が
行えますか？

☐ YES ☐ NO

Zoomの操作、利用ができますか？
(これから学びたいとされている方はYES
に該当します)

☐ YES ☐ NO

申込方法

お申込みはEメールにて受付いたします。
必要事項を本文に入力して申込受付期
間中に送信してください。

メールアドレス
koza@miyazaki-mu.ac.jp

必要事項

①住所、②氏名、③年齢、④電話番号
⑤「韓国語講座を受講希望」と記載
ご提供いただいた個人情報は本講座の運営および統
計分析に使用し、これらの目的以外に使用すること
はありません。

申込受付期間

令和2年9月1日(火)～9月25日(金)

*受講者の決定はメール又は郵送にて
9月30日頃にお知らせします。

お問合せ先

宮崎公立大学地域研究センター(運営会館2階) TEL: 0985-20-4772 (土・日、祝日を除く9:00～17:00)



令和 2(2020)年度 開 放 授 業

講 座 名	担 当 講 師	概 要	期 間
前 期 開放授業		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止	
後 期 開放授業		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止	

令和 2(2020)年度 その他講座・講演

講 座 名	担当講師	目 的	日 程
英語教育 フォーラム 2020 教室の インタラクション	准教授 (現教授) 松本 祐子	宮崎公立大学は、開学当初から教職課程をもち、これまでに 250 名をこえる小学校・中学校・高等学校の英語教員を 4 半世紀に渡り輩出してきた。 宮崎における知の拠点のひとつとして地域に貢献すべく第三回の英語教育フォーラムを開催する。 今年度は「教室のインタラクション」をテーマに基調講演や現職教諭（本学卒業生）の実践報告を通じて課題を共有し、意見交換を行うことを目的とする。 また、本フォーラムを機に英語教育関係者のネットワークを広く構築し今後の継続的な研究会や研修につなげていくことも目指す。	令和 2 年 12 月 19 日（土） 13:00～17:40

宮崎公立大学英語教育フォーラム 2020			
講 演 名		教室のインタラクション	
実施期間・回数		令和2年12月21日(土) 13時00分～17時40分	全 1 回
会 場		宮崎公立大学より WEB 会議システム Zoom を利用して配信	
	時間	内 容	
1	13:00～13:15	開会行事	
2	13:15～14:45	講演	テーマ：「オーラルプレゼンテーション活動 ～発表にむけた足場づくり～」 講 師：峰松 和子 (跡見学園女子大学文学部人文学部 准教授)
3	15:00～16:20	フォーラム	「教室のインタラクション(実践報告)」 プレゼンター：加藤 耕平 (愛媛県立宇和高等学校教諭) プレゼンター：門前 愛貴 (出水市立高尾野中学校教諭) プレゼンター：徳留 慧太 (高原町立高原小学校教諭) コーディネーター：松本 祐子 (宮崎公立大学准教授・現教授)
4	16:30～17:30	情報交換・ グループ 討議	グループに分かれ(ブレイクアウトルーム使用)オンライン上で参加者による意見・情報交換、グループ討論
5	17:30～17:40	閉会行事	
受講者負担		受講料：無料	
募 集 対 象		宮崎県内外の教育関係者	
参 加 者 数		35 名	

宮崎公立大学英語教育フォーラム2020

教室のインタラクション

2020年

12月19日

土

13:00-17:40

オンライン開催

趣旨

宮崎公立大学は開学当初より教職課程を持ち250名を上回る小学校・中学校・高等学校の英語教員を4半世紀に渡り輩出してきた。宮崎における知の拠点のひとつとして地域に貢献すべく第三回の英語教育フォーラムを開催する。今年度は「教室のインタラクション」をテーマに基調講演や現職教諭（本学卒業生）の実践報告を通じて課題を共有し、意見交換を行うことを目的とする。また本フォーラムを機に英語教育関係者のネットワークを広く構築し、今後の継続的な研究会や研修につなげていくことも目指す。

講演

テーマ：「オーラルプレゼンテーション活動
～発表にむけた足場づくり～」

講師：峰松和子（跡見学園女子大学文学部人文学科准教授）

★申込み方法

メールの件名に「英語教育フォーラム2020申込」、本文に①氏名（ふりがな）、②所属校、③当日連絡可能な電話番号を記載の上、お申し込みください。

申し込みアドレスは⇒ koza@miyazaki-mu.ac.jp

12月8日(火)17時必着 *12月11日(金) 17時までに受付確認メールを差し上げます。

お問合せ 〒880-8520 宮崎市船塚1丁目5 8 番地

宮崎公立大学地域研究センター

電話番号：0985-20-4772 FAX：0985-20-4773

宮崎公立大学英語教育フォーラム2020

日時：12月19日(土)13:00~17:40

場所：ZOOMによるオンライン開催

(事前申込が必要です。詳しくは裏面下をご覧ください)

日程スケジュール

13:00-13:15 開会行事

13:15-14:45 講演（質疑応答を含む）

15:00-16:20 フォーラム（実践報告+質疑応答）

16:30-17:30 情報交換・グループ討議

17:30-17:40 閉会行事

フォーラム「教室のインタラクション(実践報告)」

プレゼンター：加藤 耕平（愛媛県立宇和高等学校教諭）

プレゼンター：門前 愛貴（出水市立高尾野中学校教諭）

プレゼンター：徳留 慧太（高原町立高原小学校教諭）

コーディネータ：松本祐子（宮崎公立大学准教授）

情報交換・グループ討議

グループに分かれ（ブレイクアウトルーム使用）オンライン上で
参加者による自由な意見・情報交換、グループ討論。

後援：宮崎県教育委員会・宮崎市教育委員会

令和 2(2020)年度 公民館講座一覧

NO.	講 座 名	担当講師	日程・講座会場
1	現代小説を読む	准教授 楠田 剛士	久峰中校区活動センター 令和 2 年 10 月 17 日 (土)

Ⅱ 研 究 事 業

令和 2(2020)年度 宮崎市学術研究振興助成事業

令和 2(2020)年度 宮崎市学術研究振興助成事業

No.	職 氏 名	研 究 課 題
1	教授 川瀬 隆千	育児に関する相談行動の促進を目指した介入プログラムの開発 ～育児における父親の役割と夫婦の関係性に着目した検討～

I 生涯教育事業

＊ オンライン公開講座

＊ 自主講座

＊ オンライン語学講座

＊ 開放授業

＊ その他講座・講演

＊ 公民館講座

育児に関する相談行動の促進を目指した介入プログラムの開発
～育児における父親の役割と夫婦の関係性に着目した検討～

[研究代表者]

川瀬 隆千（宮崎公立大学 教授）

[研究分担者]

野崎 秀正（宮崎公立大学 准教授・現教授）

立元 真（宮崎大学 教授）

後藤 大士（都城新生病院）

岩切 祥子（いわきりこころのクリニック）

坂邊 夕子（細見クリニック）

岡本 憲和

I 研究の成果

本研究は、家庭（特に夫婦関係）を子育てにおけるひとつのシステムとして考える包括的なアプローチにより、子育てに悩む母親が相談機関を積極的に活用できるようになるための介入プログラムを開発し、その効果を検証することであった。本研究は2年間での実施を想定しているが、このうち1年目の位置づけであった令和2年度は、介入プログラム開発のために必要な基礎データの収集を目的とした調査研究を行った。

宮崎市住民基本台帳から4歳以上の幼児がいる家庭1000世帯を多段抽出法により抽出し、質問紙を送付した。その結果、508名の母親からの返送があり（返送率50.8%）、結果の信頼性を保証するには十分のサンプルを収集できた。母親の年齢は、30代65.5%、40代24.2%、20代9.6%であり、職業は、専業主婦18.3%、就業者78.2%であった。このうち、夫（子どもにとっての父親）のいる母親は435名（全体の85.6%）であった。得られたデータに対して統計分析を行った結果、以下に示す結果等が明らかになった。①夫（父親）の有無による母親の悩みの多さ・深刻さに有意差はないが、1人で子育てをしている母親は、そうでない母親より悩みが多く、深刻であった。②母親は父親より子どもの学習や就学準備の問題について悩み、父親は母親より子どもの身体の発達の問題について悩む傾向にあった。③夫が子育ての悩みを深刻に捉えていると考える母親ほど相談意図が高かった。④夫婦関係が良好で、夫の育児関与度が高いと考える母親ほど公的機関への相談をポジティブに考える傾向が高く、ネガティブに考える傾向が低かった。以上の結果は、育児の悩みに関する母親の公的機関への相談意図に、夫（父親）の存在が影響を与えるという新しい知見を提供した。

II 研究成果の活用

本研究の目的は、令和3年度に実施予定の相談促進のための介入プログラムの開発と効果の検証に必要な基礎データの収集であったことから、本研究で得られた結果を来年度開発予定のプログラムに組み込むことが可能となる。その結果、令和3年度は、母親だけではなく父親（夫）も含む家庭内システムの改善というアプローチから公的機関への相談を促進させることを意図した、より効果の高いプログラムを開発できることが期待される。献するものであると言える。

令和 2(2020)年度 宮崎公立大学学術研究推進助成事業

令和 2(2020)年度 宮崎公立大学学術研究推進助成事業

No.	職 氏 名	研 究 課 題
1	教授 永松 敦	東アジアの中秋節 —景清の命日はなぜ十五夜なのか?!—
2	准教授 (現教授) 松本 祐子	「教育フォーラム」の開催による宮崎公立大学を ハブとする教育ネットワークの構築
3	准教授 川瀬 和也	図書出版助成事業 全体論と一元論 — ヘーゲル哲学体系の核心 —

東アジアの中秋節
—景清の命日はなぜ十五夜なのか？！—

[研究代表者]

永松 敦（宮崎公立大学 教授）

[研究分担者]

項 青（熊本県立大学 講師）

金 敬淑（熊本大学 講師）

I 実施概要

コロナ禍により、現地調査は実施できなかったが、急速に普及したオンライン会議システムによって、日中韓の十五夜研究会、さらには、シンポジウムを開催することができた。中国は中秋節。韓国は秋夕（チュソク）で、ともに、先祖祭祀のため故郷に帰省中で現地からオンライン参加となった。本学と提携校の韓国蔚山大学校の学生（本学への留学予定者）2名（심정엽（沈 桎燁さん）、최은영（崔 恩瑛 チェウンヨンさん））が毎回、ゼミに参加。本学と蔚山大の学生同士は合同の研究発表となった。さらには、シンポジウム当日は中国広西壮族自治区の2大学の教員ともつながり、韓国 EBS（国立教育開発院）元制作局長 金 俊漢氏、民俗学ゼミの学生たちを加えて研究会を実施した。さらには、大阪の在日コリアンの方の参加もあり、朝鮮半島各地の十五夜の伝統行事を現在も受け継がれていることが確認できた。シンポジウムの内容は、本学研究紀要 第28巻第1号に「コロナ禍における大学教育—遠隔授業とオンライン・シンポジウム」と題して報告している。

《パネリスト》

項 青 （熊本県立大学講師 兼中国語通訳）
秦 璞 （広西大学外国語学院 助教授）
潘 艶賢 （広西民族大学東南アジア学院 助理研究員）
김준한 金 俊漢 （元韓国 EBS 制作局長）
이신혜 李 信恵 （フリーライター在日朝鮮人 2・5 世）
김경숙 金 敬淑 （熊本大学講師 韓国語通訳）
심정엽 沈 桎燁 シム ジョンヨプ （蔚山大学校 卒業生）
최은영 崔 恩瑛 チェ ウンヨン （蔚山大学校 学生）

～宮崎公立大学民俗学ゼミ～

古澤 果林・櫻田 真由美・橋口 美空・佐藤 もも・田中 里沙・西 優里
横山 未羽・王 安琪（留学生）・王 翔宇（留学生）

永松 敦（司会）

II 本事業実施により得た成果・効果等

今回のシンポジウムによって、日中韓はもとより、広く東南アジアの中秋節にまで話題が広がった。聴講者は平均約 50 名。旧暦 8 月 15 日の十五夜・中秋節・秋夕は同日同時刻に東アジアから東南アジアに共通する伝統行事である。国際交流に貢献するとともに、在日コリアンの方の参加により日本国内における多文化共生にも少しではあるが関わることもできた意義は大きい。国内外の研究者や一般市民も多く参加された。もっとも有意義であったのはコロナ禍に

よって留学の中止が余儀なくされたが、ほぼ半年間ズームによって、民俗学ゼミと韓国蔚山大学校の日本留学予定者との交流が図られたことである。教育的効果は極めて高かったと言える。今後は、中国蘇州大学との連携も視野に入れて活動を広げたいと考えている。なお、本題の「景清の命日はなぜ十五夜なのか？」については、宮崎市地域のお宝発掘・発展・発信事業における「景清フェスタ」が中止となったため関連付けることができなかったが、次年度以後は大宮地域全体とかかわる事業として定着させていく予定である。

「教育フォーラム」の開催による宮崎公立大学を

ハブとする教育ネットワークの構築

[研究代表者]

松本 祐子 (宮崎公立大学 准教授・現教授)

[研究分担者]

竹野 茂 (宮崎公立大学 教授)

野崎 秀正 (宮崎公立大学 准教授・現教授)

寺町 晋哉 (宮崎公立大学 准教授)

I 実施概要

本事業は、統一テーマを「教室のインタラクション」とし、3つの目的（①英語教育に関して実践に基づく問題点や悩みを共有し、改善や解決を図ること、②英語授業で効果的な活動やアイデアを共有すること、③情報交換を通して、教員間、卒業生と在校生、および大学と地域のネットワークを広げ、相互の親睦を図ること）を掲げてオンライン形式で実施された（令和2年12月19日）。

まず基調講演として、跡見学園女子大学准教授の峰松和子先生から社会文化理論の概要と効果的なプレゼンテーション指導の実践をお話いただいた。

続く実践報告では、本学卒業生で現在教職についておられる加藤耕平先生、門前愛貴先生、徳留慧太先生から、それぞれの教育現場において実践されている「インタラクション」を促進するための活動を発表していただいた。

最後にグループに分かれて、テーマに関する意見交換やネットワーク作りを行い、全体で話し合いの内容を共有した。

II 本事業実施により得た成果・効果等

本事業により得られた成果は大きく三つ挙げられる。

第一に現在様々な分野で研究・応用がなされている社会文化理論の最新知見を基調講演から学ぶことが出来た点である。新学習指導要領でも重要視されている「主体的・対話的で深い学び」を実現するためにも、社会文化理論の基本概念（Zone of Proximal Development, Guided participation, Scaffolding 等）は多くの示唆を含んでいると思われる。

第二に実践報告を通じて、教室でのインタラクションを活性化させる様々な試みを学ぶことが出来た点である。特に教職課程で学んでいる学部生にとって、教科書では学び得ない、生き生きとした実践を本学卒業生から直接聞くという貴重な機会となり、大きな刺激となったと考える。

第三に意見交換会を通じて、英語教育に関する意見や課題を共有することが出来た点、更に所属校や学年を超えた横のつながりを作ることが出来た点である。

III 問題点および今後の課題等

今後の課題としては以下二点があげられる。

一つ目は、今回オンライン開催という形式が影響したためか、一般参加（地域住民の方々）が少なかった。本学の地域貢献という観点からも、幅広い層からの参加が可能になるような開催方式やテーマ設定などを今後も考えていく必要があると思われる。

上記に関連して二つ目は、開催時期についてである。12月中旬というのは学部生にとっても、現職の教諭にとってもスケジュール調整が難しい時期である。

事実本学においても複数の行事が同日に行われていた。また一般参加を促すという意味でも、他の開催時期を検討する可能性はあると思われる。

図 書 出 版

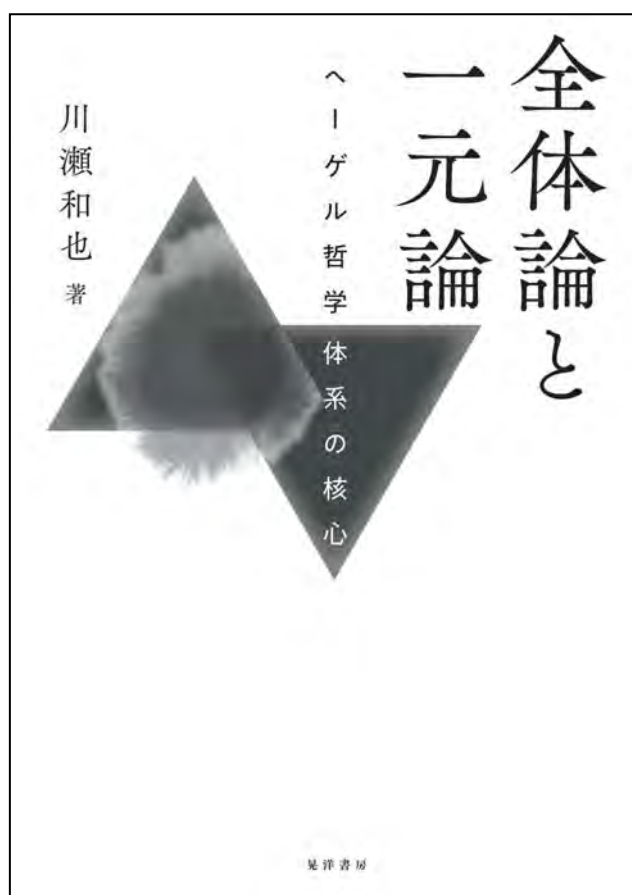
全体論と一元論
—ヘーゲル哲学体系の核心—

[著 者]

川瀬 和也 (宮崎公立大学 准教授)

出版図書概要

出版物の名称：全体論と一元論 ―ヘーゲル哲学体系の核心―
著者：川瀬 和也 （宮崎公立大学 准教授）
出版日：令和3年3月25日
判型：A5
ページ：288 ページ
ISBN：9784771034914
出版社：晃洋書房
定価：4,180 円(税込み)



内容説明

なぜ、いまヘーゲル哲学なのか。

認識論と存在論はどのように関係するのか、哲学と科学はどのように関わるべきか、心と身体はどのように関わるのか……。これらの現代哲学の諸問題についてヘーゲル哲学は解決の糸口を与えてくれるかもしれない。

著者による著作紹介

本書は、19 世紀はじめのドイツで活躍した哲学者ヘーゲル (1770-1831) の主著『大論理学』(1812-16) の研究書です。ヘーゲルの主著としては 1807 年に書かれた『精神現象学』の方が有名ですが、ヘーゲルが生涯で書いた本の中で最も分厚い本は、実は本書で扱った『大論理学』です。『精神現象学』もとても難しい本ですが、ヘーゲルはある個所で、『精神現象学』を『大論理学』の入門編と位置付けています。この意味で『大論理学』はヘーゲル哲学の「本丸」と言えます。本書には「ヘーゲル哲学体系の核心」という攻めた副題をつけていますが、これは『大論理学』という書物のことを指しています。

本書を書くときに目指していたのは、「自分が大学 4 年生だったころに読みたかった本」を書くことでした。専門家に向けて書いた研究書ですので、哲学に全く触れたことのない方がいきなり読むにはハードルが高い本にはなってしまいます。それでも、なるべくわかりやすく、哲学科で一通りのことを学んだ学生が、ヘーゲルについて本格的に学ぼうと思ったときに手に取ってもらえるような本にすることを目指しました。

哲学史研究には、大きく分けて二つの目標があります。ひとつは、過去の哲学者についての歴史的な事実を明らかにすることです。発見された手書きのノートがヘーゲルの自筆かどうかを調べるような文献学的な研究や、過去の複数の哲学者たちの間の影響関係を明らかにするような研究は、この目標を特に重視した研究といえます。これに対して、もう一つの目標は、時が隔たっているために一読しただけでは十分に理解することが難しい、過去の哲学者の本に書かれた思考の内容を、なるべく正確に理解することです。正確な理解のために有効な方法は、逆説的ですが、現代の哲学で議論されていることと比較し、その文脈の中にヘーゲルの議論を置いてみることです。たしかに一方でこうした研究には、慎重にやらなければ、本来なされていない現代的な議論を過去のテキストに読み込むというアナクロニズム（時代錯誤）に陥る危険もあります。しかし他方で、私たちがいま使っている言葉で過去の哲学者の思考を言い換えられたときに、そのテキストを最も深く理解できたことになるというのも事実で

す。実はヘーゲルという人は、哲学の研究者の間で、過去の哲学者の中でも特に難解な文章を書く人として知られています。本書では、私自身が慣れ親しんでいる現代の言葉で、ヘーゲルの言葉を必ずパラフレーズするよう心掛けました。その作業によって、自分自身のヘーゲル理解が最も深まり、また、ヘーゲルの議論に現代の哲学者たちがアクセスしやすくなると信じているためです。

本書の内容を少し詳しく紹介しましょう。本書は三つの部に分かれています。第1部では、「人間は何をどのように知りうるか？」と問う認識論と「世界には何がどのように存在するのか？」と問う存在論のどちらがより基礎的な哲学研究なのか、という、哲学においてしばしば問われてきた問いを扱っています。私の理解では、ヘーゲルの答えは「どちらでもない」というものです。そもそも、認識論と存在論のどちらかが他方を基礎づけることができる、と考えること自体が間違いのもとであり、そのような企てはすべて失敗する、というのがヘーゲルの見立てです。私たちは基礎づけの誘惑を断ち切って、バランスを取りながらやっていくしかない。このような立場を本書では、「全体論」と呼んでいます。

第2部では、ヘーゲルが『大論理学』で科学について論じていた、ということを指摘しています。ヘーゲルが活躍した時代である19世紀初頭の科学は現代から見るとまだまだ間違いだらけのものでした。ヘーゲルも、現代から見ると間違っているとしか言いようのない様々な科学理論を信奉していました。それにもかかわらず、ヘーゲルは科学と哲学の関係について興味深い議論を提示しています。それは、かみ砕いていえば、科学と哲学は「持ちつ持たれつ」の関係である、ということです。このヘーゲルの視座は、200年の時を経て科学が格段に進歩した現代の私たちにとっても示唆的なものだと言えます。

第3部では、心と身体はどうかかわっているのか、という、哲学で「心身問題」として知られる問題を扱いました。『大論理学』では、心身問題は目的論的な関係として考察されます。この関係は、カール・マルクスの『資本論』の中に、「労働過程論」として取り入れられたことでも知られています。マルクスのような解釈はヘーゲルの議論の応用として示唆に富んでいます。本書ではしかし、ヘーゲルの本来の眼目は、労働のような社会的・経済的な議論を展開することではなく、あくまでも理論哲学の問題としての心身問題を扱うことにあった考えるべきだ、と論じました。さらに、この観点から、ヘーゲルが「生命」の概念に心身問題を解決する力があるはずだという期待を寄せていたことも明らかにしました。

本書には、ヘーゲルの生まれ故郷のドイツだけでなく、アメリカやイギリスといった英語圏で展開されてきた比較的新しいヘーゲル研究の潮流に光を当てているという特徴もあります。本書を通じて、ヘーゲル哲学や、英語圏のヘーゲル研究の魅力を感じていただければと思います。

Ⅲ 連 携 協 力 事 業

宮崎市教育委員会との連携協力

宮崎市教育委員会との令和2(2020)年度連携協力事業については、以下のとおりである。

1 宮崎東中学校における英語学習アシスタント活動（長期：半年間）

教員を目指している4年生が、卒業後、不安なく教壇に立てるよう、英語学習アシスタント活動を行う。昨年からの継続事業。

●新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

2 宮崎東中学校における英語学習アシスタント活動（長期：1年間）

教員を目指している3・4年生が、教育実習前の中学校での学校体験として、英語学習アシスタント活動を行う。平成26(2014)年度からの継続事業。

●新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

3 大宮中学校における英語学習アシスタント活動（長期：半年間）

教員を目指している4年生が、卒業後、不安なく教壇に立てるよう、英語学習アシスタント活動を行う。平成27(2015)年度からの継続事業。

●新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

4 大宮中学校における英語学習アシスタント活動（長期：1年間）

教員を目指している3・4年生が、教育実習前の中学校での学校体験として、英語学習アシスタント活動を行う。平成29(2017)年度からの継続事業。

●新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

5 ひむかかるた競技大会

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

6 その他の活動

宮崎西中学校における学校支援ボランティア

① サマースクール支援（夏季休業中）

夏休み期間中のサマースクール（学習会）において、教職課程を履修している学生が中学生への学習支援を行う。

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

② 英語検定二次試験面接指導

英語検定を受験する生徒を対象にした二次試験（面接）の指導に、教職課程を履修している学生が面接官役になって指導を行う。

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

③ 英語学習アシスタント活動（長期：1年間）

教員を目指している3・4年生が、教育実習前の中学校での学校体験として、平成30(2018)年度から英語学習アシスタント活動を行う。

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

<宮崎県教育委員会主催事業>

スクールトライアル事業への参加（短期：3日間）

昨年度に引き続き、教員を目指す2年生に対して、教育実習とは別に、教員の業務に対する理解や子どもとのコミュニケーションを図る機会を提供する。

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

宮崎銀行・宮崎太陽銀行との連携協力

◎ 「インターンシップ論」の講義への講師派遣（宮崎銀行）

本学の前期開講科目である「インターンシップ論」に講師として行員を派遣し、企業概要やインターンシップのプログラムについて説明いただいている。

※令和2年度はコロナウイルス感染拡大の影響を受け、「インターンシップ論」を後期に変更して開講。講師派遣については中止となった。

◎ 令和2(2020)年度業界研究セミナー講師派遣（宮崎銀行）

本学が実施した業界研究セミナーに、講師として行員を派遣いただいた。

(1) 実 施 日 令和3年1月12日（火）

(2) 参 加 者 数 10名

(3) 方 法 オンライン開催

◎ 「キャリア設計Ⅱ」の講義での企業訪問受け入れ（宮崎銀行・宮崎太陽銀行）

本学の後期開講科目である「キャリア設計Ⅱ」で行う学生の企業・自治体インタビューに行員の方を派遣いただいた。

（宮崎市地元とつながる人材育成支援事業/「宮崎×キャリア」の探求2020）

(1) 実 施 日 令和2年12月1日（火）・12月8日（火）

(2) 参加学生数 宮崎銀行 24名・宮崎太陽銀行 21名

◎ 令和2(2020)年度インターンシップへの本学学生の参加（宮崎銀行）

*夏期インターンシップ（公募） 2名

（任意回答アンケートでの把握数のため、回答者数のみの数字）

宮崎商工会議所との連携協力

1 日商簿記検定

日商簿記検定(第 156 回検定)の試験会場として、学内施設の貸出を行った。

・実施日：令和 2 年 11 月 15 日（日）

2 みやざき観光・文化検定

みやざき観光・文化検定の試験会場として、学内施設の貸出を行った。

・実施日：令和 2 年 12 月 13 日（日）

宮崎日日新聞社との連携協力

本学では、学生が時事問題や地域の課題について関心を高めるため、新聞を活用した講義（※）を設け、宮崎日日新聞社から、その講義に、記者などを講師として派遣していただいている。

※令和2(2020)年度後期「時事問題ガイド」（主に1年生対象科目）

令和2年10月2日（金）～令和3年1月22日（金）全15回の講義を実施

令和2年(2020年)10月6日(火)

宮崎日日新聞社提供

宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

新聞を読むこと

宮崎の明日

宮日と考える

～公立大時事問題講義から

▽▽1

新聞は、今の時代に必要とされている言語能力(実用日本語)の習得に適しているとされる。事実と意見の区別など情報整理のための基本的な

黒木 裕司(くろき ゆうじ)編集委員室編集委員。1992年入社。報道部員、日向支局長、整理部長、延岡支社長などを経て2019年から現職。宮崎市出身。53歳。



日向支局長、整理部長、延岡支社長などを経て2019年から現職。宮崎市出身。53歳。

新聞を読むこと

読解力が学べる。そう聞くと堅く思うだろうが、喜怒哀楽に満ちた発見型メディアでもある。読むことで「想像力」「文章力」「集中力」「判断力」「行動力」という五つの力を育むことができる。情報収集が上手な人は、新聞を「飛ばし読み」する。見出しを見ながら全てのページに目を通すと約10分で頭に入る。それは、一覧性があり、見出しで記事の概要が分かり、記事のリード(1段落目)を見ればニュースの結論が書いてある。など、新聞の特性によるものだ。慣れると、関心のなかった記事なども目に入ってきて、さまざまな情報をバランスよく得ることができる。

想像力や文章力育む

気になった記事はゆつくりと読み、切り抜いてスクラップして要約・感想まで書く訓練をすると読解力はさらに身に付く。就職試験で時事問題を問う企業は多い。それも8割近くが筆記試験で聞いているというデータもある。アウトプットの訓練は大事だ。新聞とりわけ地方紙は、権力の監視と知る権利への奉仕とともに、地域コミュニティの一員としての役割を担っている。宮崎日日新聞の方針は「読者と共感、県民とともに、新聞配達時の高齢者見守り、美術展の開催、広告で企業活動を後押しするなど、さまざまな場面で県民に寄り添う役割を問われている。

学生の感想

【1年、盛綱花蓮さん(19)】新聞を読むことで読解力だけでなく、想像力や集中力、判断力も養うことができると分かった。

【1年、川原昂大さん(18)】自分が考えていた以上に新聞は大きな役割を持っていることや、役立てやすいものであることが分かり、これから講義や新聞を読むことが楽しみになった。

【3年、海野真衣さん(20)】これから就職活動が本格的に始まる。講義を参考にして、新聞を今まで以上に活用していきたい。

【1年、園田純平さん(19)】新聞の読み方から役割まで細かく知ることができた。中学生のとき県駅伝競走大会で結果を残すことができ、新聞にコメントが載った。その切り抜きは今でも大切に保存している。

【1年、首藤彩美さん(18)】正直、新聞は読みにくい情報媒体だと思っていた。講義で紹介された新聞の読み方を実践し、情報を自分のものになりたい。

【3年、渡辺みなみさん(20)】就職活動で「新聞を読む」ことは必要不可欠と感じた。経済知識を特に深めたい。

(2日公開の講義から)

令和2年(2020年)10月13日(火)

宮崎日日新聞社提供

宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

SDGs と宮崎

宮日と考える
宮崎の明日
～公立大時事問題講義から

▽▽2

地球を守り、誰も置き去りにせず皆が幸せになれる世界を目指す国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」。

その意義を理解し17の目標

中川 美香 (なかがわ・みか) 生活文化部長。1993年入社。報道部、日本支社、文化部長、論説委員会論説委員を経て2017年から現職。都城市出身。49歳。

SDGs と宮崎

を身近に感じるため勧めたいのが、貧困や教育格差、温暖化など世界に横たわる課題を「日本ではどうか」「県内では」「自分の地域では」と引き寄せて考える習慣を持つことだ。その過程で新聞が役に立つ。逆でもいい。プラスチックごみ問題であれば自分の行動が「地域」「県内」「日本」「地球」にどんな影響を及ぼすか関心を広げていく。行動も変わってくるだろう。17の目標のうち日本、そして本県がまず取り組むべきだと考えるのが「ジェンダー平等を実現しよう」だ。世界の中で日本が、日本の中でも本県が、さまざまな項目で遅れている。県内でも議員、自治体職員や企業の管理職、自治

まずジェンダー平等を

会長などに女性が少ない。これは何を意味するか。政策、地域づくり、商品、サービスなどについての最終的な議論や決定が、偏った性別の集団でなされがちだということだ。当事者の視点が不足し、経験や考えにも多様性がないため変化が起きにくい。そこでリーダーや組織メンバーに女性はもちろん性的少数者(LGBTなど)、障害者、外国籍の人、若者、子どもを加えることを提言したい。新しい発想が生まれやすくなり、地域課題の解決へ扉が開けるのではないかと。とりわけ若者の参画により未来志向のまちづくりが可能になる。多様な物の見方を促すSDGsを存分に活用しよう。

学生の感想

【4年、川崎剛さん(22)】
一番関心を持ったのはジェンダー問題。管理職世代の意識を変えないことには、平等は早期に実現しない。「社長さん」世代に訴えていくべきだ。

【1年、丸山鈴乃さん(18)】
全ての人の関係する物事を一部の年代、偏った性別の人が決めるとそのほかの人にとって良いものではなくなる。多様な人の視点が大切と考える。

【1年、濱田萌華さん(18)】
社会の課題は、別の問題が実はつながっているという相互接続的な意識を持って解決することが大事と思った。SDGsを学ぶ場を多く設けたい。

【3年、芝原あかりさん(21)】
目標の「住み続けられるまちづくりを」に関心がある。雇用を求め若者が流出する問題は、就活を通してより身近に感じられるようになった。

【1年、大島瑞己さん(19)】
普段新聞を読むときも、SDGsの視点から見ていくと新たな発見や考えの発展につながり解決策が見えてくる可能性があると思った。

【1年、宮本奈旺さん(18)】
地域経済の応援で「小さなお店に行くようにしている」と聞いてはっとした。自分が地域に貢献できることが身近にあったと気付いた。

令和2年(2020年)10月20日(火)

宮崎日日新聞社提供

宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

宮崎の強みと成長企業

宮日と考える

宮崎の明日

～公立大時事問題講義から

▽▽3

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、都市部から地方への回帰に関心が高まっているという。内閣府の調査では東京23区に住む20代の約35%

鬼束 功一（おにつか・こういち）



ういち 経済部編集委員。1996年入社。日向支局長、福岡支社報道部長などを歴任。2019年4月から現職。宮崎市出身。50歳。

長、福岡支社報道部長などを歴任。2019年4月から現職。宮崎市出身。50歳。

宮崎の強みと成長企業

が「地方移住へ関心が高まった」と答えた。しかし、実際には、地方が対応すべき課題はまだ多いように思う。

現状、人口問題対策として九州では福岡市が、本県では宮崎、延岡、都城市が大都市圏への若者流出を防ぐ。人口ダムへの役割を強めようと努めている。魅力ある地方で都市づくりへ資源や政策を集中投入する人口ダム（地方都市のダム機能）。この方法による効果は否定しないが、農村部や山間部にとっては、貴重な人材の流出という課題の根本的な解決にはならない。この「選択と集中」という考え方の対立軸となるのが、「多様性の共生」を理念に、

地方回帰進める基盤に

地方への「分散・回帰」を進めるといふ考え方。多様な価値観が共生しながら都市と農村の関係、地方と中央のバランスを再構築することが、人口の過度な一極集中という事態打破への第一歩となる。多様な価値観を生み出し、地方への回帰を促す上で重要なインフラ（社会基盤）となるのが、雇用の受け皿ともなる企業と考える。本県でも近年、1次産業が盛んな地域ならではの強みを生かし、成長する企業が誕生している。成長企業は、独自の視点やアイデアで、さらには強みの付加価値を高めている。地方回帰の動きを促すためにも、こうした成長企業のさらなる活躍を期待したい。

学生の感想

【1年、小川菜緒さん(18)】宮崎の食品産業は将来伸びると思う。おいしい食材が多いので、食材単体ではなく名物になるような料理を提案していくことが大切だ。

【1年、白木秀汰さん(18)】サーフィンやスケートボードなどのアクティビティ関連を県内外にアピールすべきだ。いずれも五輪競技に決定しており、注目度は必ず上がる。

【4年、外野春菜さん(21)】IT（情報技術）業界に可能性を感じる。ビッグデータを活用することで、後継者不足に悩む農業や漁業の現場を手

助けできるのではないかな。

【1年、椎畑風花さん(18)】コロナ禍の中、国内旅行が伸びており、温暖な気候を生かした農業体験の人气が高まりそう。農業と観光を結びつける取り組みに期待。

【1年、松尾京香さん(19)】フォトジェニックな場所をSNS上で発信し、老若男女問わずに来てもらう工夫をするのも、観光を伸ばす一つの手段だと思う。

【1年、日高実花さん(19)】リモートワークの環境が整ってきており、仕事とプライベートのオンオフを切り替えて暮らしたい人には宮崎がぴったり。移住は増えそう。

（16日公開の講義から）

令和2年(2020年)11月3日(火)

宮崎日日新聞社提供

宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

スポーツと地域

宮日と考える

宮崎の明日

公立大時事問題講義から

▽▽4

新型コロナウイルスの感染拡大で、県内でも多くのスポーツ大会が中止となった。高校生の県総体と全国総体(インターハイ)、全国高校野球

大山 俊郎 (おやま・としろう) 運動部長。1995年入社。高鍋支局長、整理部長、報道部長などを経て2018年から現職。宮崎市出身。49歳。



選手権大会や予選である宮崎大会も取りやめに。紙面では、集大成の場を失ってショックを受ける3年生の無念さを伝えてきた。その後代わりの大会が行われており、3年間競技に打ち込んだ選手の思いを紹介することで少しでもその背中を押せればという思いで記事を出してきた。本県は春にプロ野球やサッカー・Jリーグのキャンプで多くのアマチュア合宿がキャンセルとなった。今後の影響が懸念されるが、ここまで多くのチームを集めるまでになったのは、41年前の宮崎国体で整備されたスポーツ施設などがベースになっている。国体から改称される国民ス

ポーツ大会と、全国障害者スポーツ大会が、本県で2027年に開かれる予定だ。本番に向けて競技力向上などソフト面、陸上競技場建設などハード面の両方で準備が進む。7年後の大会で県勢が活躍し、多くの観客でにぎわうだけではない意味がない。競技面では、力を付けた選手が指導者として後進を育て、地域にスポーツを楽しむような土壌ができることが大事。施設の有効活用も求められる。コロナ禍の中で、競技に打ち込む高校生アスリートの姿は人々を勇気づけ、スポーツの価値を再認識させた。大会開催や競技環境づくりの取り組みが地域をどれだけ豊かにできるか、注視してほしい。

切だと学んだ。

【1年、別納ひな子さん(18)】7年後に宮崎で国民スポーツ大会があることを初めて知った。私も宮崎を盛り上げるため、何かできることがないか考えてみたい。

【3年、遠藤花保さん(22)】スポーツ界が新型コロナ対策をしながら競技を再開し、活気を取り戻せることを願う。芸術などの活動再開にもいい影響を与えるのでは。

【1年、大原葵さん(18)】後輩が全国総体で活躍するのが楽しみだったのでショックを受けた。代替大会を楽しみ、新たな目標へ切り替える姿にスポーツの力を実感した。

学生の感想

【3年、木下莉那さん(20)】当たり前になっていたスポーツができなくなる日々を私たちは経験した。競技再開のニュースや競技する人を目にしうれしく思った。

【1年、阪元美月さん(19)】高校時代はバレー部。県総体がなくなり泣いている姿をテレビで見てつらかった。後輩たちにはこの悔しい思いを力に変えてほしい。

【1年、村山ありささん(19)】コロナ収束後のスポーツキャンプや2027年の国民スポーツ大会が楽しみ。施設の使い道など、イベント後の行動が大

令和2年(2020年)11月10日(火)

宮崎日日新聞社提供

宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

外交官・根井三郎

宮日と考える
宮崎の明日
宮立大時事問題講義から

旧広瀬村(現・宮崎市佐土原町)出身の外交官、根井三郎(1902〜92年)への注目が高まっている。根井に關

清水正樹(しみず・まさき)報道部長、99年入社。報道部、経済部、新富支局長、整理部長、総務部次長を経て2019年4月から現職。福井県出身。45歳。



▽▽5

外交官・根井三郎

する資料は乏しいが、研究者らの活動で功績が明らかになりつつある。
第2次世界大戦中、旧ソ連ウラジオストク日本総領事代理だった根井は、リトニアのカウナス駐在領事代理だった杉原千畝(1900〜86年)が発給した日本通過ビザを持つユダヤ人難民を日本行きの船に乗せた。ビザを持たない難民には、独自に発給したことが分かっていた。
根井がビザを発給したとする旧ソ連側の記録があったものの、実物は確認されていなかった。しかし、東京都在住のフリーライター、北出明さんが難民名簿などの調査過程で確認。これを本紙は今年6

他にビザ発給可能性

月に報じた。ビザを受給したのはポーランド系ユダヤ人の故シモン・コレンタイエルさんで、米国に住む家族が保管していた。ビザには「21号」と書かれており、根井は他にも発給していた可能性がある。
根井は自身の行動について語らず、永眠した。当時どのような状況にあり、根井を突き動かしたものは何か。また杉原は日露協会学校の二期生だが、2人の関係性は分かっていない。
佐土原の顕彰会は、他に根井が出したビザがないか探すなど活動が続けるという。顕彰会や研究者の動きを追いつながら、地元紙として根井の美像に迫りたい。

学生の感想

【4年、大浦実紗さん(21)】杉原千畝の話は聞いたことがあったが、同時代に県出身の外交官に関わっている人物がいることは初めて聞き、とても勉強になった。
【1年、小川ジュリさん(18)】出身が同じで、根井氏のことはなんとなく知っていたが、詳しく聴くことができたことに良かった。講義で紹介された本を読むなどして、さらに知りたい。
【1年、宮本奈旺さん(19)】根井氏がユダヤ人難民を助けた動機など、本人の心情について知りたいと思った。

【1年、平田文香さん(19)】根井氏の功績が、救済されたユダヤ人難民の子孫にどのような影響を与えているのか深く知りたい。
【1年、畠中実夕さん(18)】世界にはさまざまな偉人がいるが、それを「すごい人がいた」で終わらせず、歴史から学び、より良い未来をつくることにつなげたい。
【1年、盛綱花蓮さん(19)】根井氏の考えは、現代にもつながるものがあると思った。人種、民族、国籍で人を判断せず平等に接し、困っている人には手をさしのべることが大切だと根井氏の功績から感じた。
(6日公開の講義から)

令和2年(2020年)11月17日(火)

宮崎日日新聞社提供

宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

政治離れと若者

宮日と考える

宮崎の明日

～公立大時事問題講義から

▽▽6

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、安倍晋三前首相が8月末に体調不良で辞任し、菅義偉官房長官が新首相に選出された。新政権最大の



伊佐賢太郎 (いさ・けんたろう) 報道部次長

南支社、西都支局長、整理グループ次長などを経て現職。宮崎市出身。46歳。

政治離れと若者

課題はコロナの感染封じ込めと経済再建。衆院議員は任期満了まで1年を切り、菅首相がいつ衆院解散・総選挙に打つて出るかも焦点となる。本県を含め、近年は国政、地方選挙を問わず投票率の低迷が続く。政治離れが加速している。政治は暮らしをより良くするためのものであり、コロナ禍の中でいまだ一度、1票の重みを考えたい。

「誰でも同じ」脱却を

政治家の力量が問われている。県内の投票率は、18年の知事選が過去最低の33・90%。続く19年の参院選宮崎選挙区も過去最低の41・79%となり、全国の選挙区で最も低かった。年代別投票率(抽出)では18、19歳と20、24歳は20%台に低迷。これからの時代を支える世代が1票を投じないのは、未来の社会づくりを放棄することでもある。投票した後も当選者が公約を実現しているかをチェックすることで、次の選挙の判断材料になる。宮崎日日新聞は、候補者の政策や地域の課題を掘り起こして検証している。気になる記事を読み、まずは1票を投じることから始めてほしい。

学生の感想

【1年、大島瑞己さん(19)】
地方選だと特に、前任議員が何をして、地域が具体的に変わったのか明確に分からない。昨年初めて投票したが、正直それぞれの候補者にどのような特徴があるのか分からなかった。候補者討論会などを開き、有権者の質問に答える場を設けると、政治へ関心を高めるのに効果的だと考える。

【1年、大塚晴香さん(19)】
中学の頃は投票に行ってみたかったが、高校では受験勉強に追われ興味があまりなくなっていた。高校でも学ぶ機会

を増やし、テレビや新聞でも若者向けの政治コーナーがあればいいと思う。

【1年、松原未来さん(19)】
若者が今、危機感を持ち投票率が上がることで政治家も若者に目を向ける人が多くなる。大人が想像する以上に若者は自分の考えを持っている。その考えを社会に広げる場をつくるのが大切だ。

【1年、松下仁成さん(19)】
「政治離れ」を解消するためには、各政党や候補者は自分の主張を誰にでも分かりやすい言葉で示すこと。報道機関は、それらをまとめて比較できるような情報を発信することが求められる。

令和2年(2020年)11月24日(火)

宮崎日日新聞社提供

宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

就活と新聞

宮崎の明日

宮日と考える

宮立大時事問題講義から

▽▽▽

大学生にとって一番の関心事は就職。今年は新型コロナウイルスの影響で、就職活動(就活)の現場は様子が変わっている。採用選考はウェブ

侯野 秀幸(またの・ひでゆき)編集委員



長、総務部次長、運動部長、日南支社長などを経て2019年から現職。小林市出身。53歳。

就活と新聞

面接が増えている。ウェブ面接のメリットは感染リスクを抑えられる、移動時間や交通費がかからないなど。一方で、会社の雰囲気がかみつきにくい、学生側の熱意がメラメラと伝わらない不安など、デメリットもある。

採用試験は面接と小論文が中心。つまり学生の表現力が試される。自分の考えをしっかりと持っていて、それを自分の言葉や文章で伝えることができるか。最近の時事問題や地域の課題に関心を向けることも重要だ。

宮日には読者投稿を掲載する「窓」面がある。最近、宮崎国際大(宮崎市)の学生から多くの投稿が寄せられる。「社会に通用する意見、文章

記事書き方の手本に

を書くには400字程度のコンパクトな新聞投稿が最適」と、授業で取り組んでいる。

小論文は就活で必須だが、その練習には新聞記事から学ぶのが近道。新聞記事にはいくつ種類がある。ニュースの事実関係を押さえた「本記」。周囲の反応や人々の受け止めを書いた「雑観」、専門家がポイントを解説する「識者談話」など。

小論文は①問題の概要②自分の考えや意見③の二つの要素で構成されるが、書く際に記事を参考にすると、例えば①については本記や雑観から、②は識者談話などだ。記事の構成を知ること書き方のコツがつかめる。みなさんも新聞投稿に挑戦してみよう。

学生の感想

【1年、森山美乃さん(19)】日ごろ、ニュースを見て感じたことや考えたことを友人や家族と話すことがある。それで社会に対する疑問や不満を解消していた。今回、新聞投稿という自分の考えを示す手段を知り、やってみようという気持ちになった。

【1年、大原葵さん(18)】宮崎国際大や宮崎北高の学生・生徒が投稿している例を知り、自分も人に伝わる文章が書けるように新聞を活用していきたい。

【1年、住岡銀さん(19)】就職について漠然とした考え

しか持っていなかったもので、今回の講義で考えるきっかけを与えてもらえてよかった。小論文が苦手なので、自分の考えを書く力を身に付けていきたい。

【1年、藤井実空さん(18)】ネットニュースを読んでいて私にとって、「時事問題ガイド」の講義を通して新聞購読の習慣化がとても大きな自信につながった。

【1年、中尾海地さん(19)】就活について、どういう心持ちをしておくべきか知ることができた。ニュースに対して「自分ならこう考える」とイメージすることが大事だった。

(20日公開の講義から)

令和2年(2020年)12月1日(火)

宮崎日日新聞社提供

宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

コロナ報道

宮崎の明日

～公立大時事問題講義から

▽▽8

今、皆さんが最も関心を寄せている話題の一つは、間違いなく新型コロナウイルスだろう。理由の一つは、ウイルスが目に見えず、どのように

戸高 大輔(とだか・だいすけ) 報道部長。1992年入社。報道部次長、東京支社報道部長、経済部長などを歴任。2020年から現職。宮崎市出身。51歳。



コロナ報道

まん延しているのか分からないこと。そのウイルスで、命を落としたり重篤な症状に陥ったりする人が相次ぎ、不安を広げている。

新聞報道では、その不安を和らげるために、個人情報に配慮しつつ、感染した方々の行動履歴や感染経路を詳しく報じる努力をしている。市町村別に感染者数を記した表を付けるほか、医療圏域ごとの入院患者数を載せた表も用意している。

より理解を深める手助けとして、感染した方々の行動履歴の分類、クラスター(感染者数)ごとのまとめ記事といった分析記事も掲載。飲食店や観光地の苦悩、全国大会への夢が絶たれた部活動生、

不安和らげ差別防ぐ

オンラインによる就職活動、ひつ迫する医療現場など、多方面に広がる影響も細かく追っている。

コロナによる差別、誹謗中傷に目を光らせる役割も大切。教員の感染で、周囲から疑いの目で見られて精神的な苦痛を受けた生徒たちが自身の体験をつづった文章も掲載した。

コロナ感染は今、第3波を迎えている。相談・検査体制を負担が集中していた保健所から、かかりつけ医などの身近な医療機関が担うようになるなど、県内では第2波までの経験を生かした取り組みが行われている。私たち自身も感染予防に努め、第3波を乗り切りたい。

学生の感想

【1年、武内歩理さん(19)】誰かを責めるということをやめることが大切だ。日本人は人の悪いわさが大好き。そこから、あることないこと付け足してその人を悪い方向に引っ張っていく。一人一人が誰かの手を取って助け合えるほどの仲でいてほしい。

【1年、田中美里さん(19)】今はオンライン授業で部屋にこもることが多くストレスがたまったり、孤独に感じたりすることが多い。なので周りに相談したり、友達と頻繁に会ったりすることで、寂しい

気持ちなどが紛れるので、これからもため続けたいようにしたい。

【1年、橘祐羽さん(19)】自分が感染することで周りの人たちにどれだけ迷惑をかけるのか想像して日々過ごすこと。生きにくい世の中になってしまったけど、みんながそれぞれの立場で我慢しているので、密を作らず人が多いところは避けたいと思う。

【1年、甲斐晴大さん(20)】新型コロナウイルスを乗り切るためには、とにかく手洗いうがいとマスク着用。毎日やりきるには強い忍耐力が必要だと思う。

(11月27日公開の講義から)

令和2年(2020年)12月8日(火)

宮崎日日新聞社提供

宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

写真の役割と力

宮崎の明日

宮日と考える
公立大時事問題講義から

▽▽9

新聞紙面は記事や写真、イラストなどがバランスよく配置されてこそ見やすく、読者の理解も早まる。近年では2ページ見開きを1枚写真で掲載するラッピングや、季節

中島雅隆(なかしま・まさ

たか)写真

映像部長、

1987年

入社。写真

部次長を経

て、2015年4月から現職。宮崎市出身。56歳。



写真の役割と力

の便りをパノラマ写真で特集するなど読者にインパクトを与える紙面づくりに努めている。

写真は記事の正確さと客観性の証明でもある。新聞では政治家や有識者らの顔写真、桜の開花宣言や梅雨入り、梅雨明けなどの写真が掲載されるが、これは記事にうそはなく、写真の通りであることを示す意味もある。運転免許証やパスポート、身分証明書などに本人の顔写真があるのも、写真の正確さが法的に認められているからだ。優れたニュース写真とは、ニュースの本質を捉え、テーマの視覚化に優れているものだ。主役にヒントが合っている。

記事のテーマ視覚化

ることはもちろん、その大きさや位置なども工夫する。分かりやすさや写真的な美しさ、躍動感も重要だ。カメラマンには、撮影技術以外にも取材目的や被写体に対する理解、観察の深さなど総合力が求められる。

現場ではカメラマン個人の力量が試されるので、緊張感やいろいろな思いを持ちながら、日頃の撮影を行っている。カメラマンの意図を理解しようとするのも、新聞の読み方の一つだ。

最近ではスマートフォンで気軽に写真撮影ができる時代となった。端末の中に撮りだめするだけでなく、自分の歴史として後世に残す作業までしっかりと行っている。

学生の感想

【1年、大久保祐太さん(20)】写真特有の正確さは、新聞というメディアの信頼を増す役割があるのだと分かった。

【1年、甲斐幹大さん(20)】これまで意識して新聞写真を見たことはなかったが、講義を受けていかに重要であるのか理解できた。

【1年、川原昂大さん(19)】災害などは言葉で伝えるのに限界があり、写真の有無で情報の伝達量がかなり違ってくると感じた。

【1年、月精美春さん(19)】新聞写真を躍動感や客観的に

その情報を全て写し出しているかなど考えながら見ると、面白いと思った。講義内であった写真の撮り方など実践してみたい。

【1年、濱田萌華さん(19)】県内の観光名所がカラーで大きく掲載された時は、行ってみたいという気持ちになり、また行った気分を味わうこともできた。

【1年、丸山鈴乃さん(18)】高校で写真部に所属していて、今でも趣味で写真を撮るので講義は興味深かった。紙面に載るときのことを想定して、向きやバランスを考えながら撮っているのがすごいと思った。

(4日公開の講義から)

令和2年(2020年)12月15日(火)

宮崎日日新聞社提供

宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

アミュプラザ開業

宮日と考える

宮崎の明日

～公立大時事問題講義から

▽▽10

11月20日、JR宮崎駅西口(高千穂口)に「アミュプラザみやざき」がオープンした。九州6カ所目となる本県だけがJR九州と宮崎交通と

樋口由香(ひぐち・ゆか)

経済部長。

1993年

入社、延岡

支社、報道

部次長、N

C整理グループ編集委員などを経て2020年4月から現職。国富町出身。



アミュプラザ開業

の共同事業。背景には「観光宮崎」の礎を築いた故岩切章太郎が創業した宮交の苦難の歴史がある。

2005年に経営破綻した宮交は、産業再生機構の支援を仰ぎ自力再建の道へ。ニトリHD(札幌市)のモールを誘致するなど立て直しを図り、18年には21年ぶりに配当を復活。起死回生を懸けて乗り出したのがアミュプラザを含む駅前再開発だった。

宮崎市に複合商業施設が新規オープンするのは05年のイオンモール宮崎以来、15年ぶり。モール出店時には市街地商店街の反対が巻き起こり「イオンモールショック」という言葉も生んだが、アミュの開業はおおむね好意的に受

にぎわい創出へ連携

け止められている。駅前商店街「あみーろ」をはじめとする商店街の連携は深まり、マンションの建設ラッシュが続く。周辺の魅力は増す一方だ。

アミュと商店街の連携は、各県で明暗が分かれる。大分ではにぎわいが復活したが、鹿児島では繁華街「天文館」の地盤沈下が指摘される。本県では、駅前から市街地まで約800mの距離を、いかに回遊してもらえるかが鍵。EC(電子商取引)が席巻する中、リアル店舗へ来てもらうには「わくわく感」の演出が不可欠。消費者側も、地元で買い物をしてお金を落とすことで、地域活性化に役買っ

学生の感想

【3年、渡部清隆さん(23)】回遊性を高めるには「継続性」と「文化の象徴付け」が重要。「福岡の博多駅」「秋葉原駅のビックカメラ」など駅に付随する施設のイメージ付けが集客につながる。

【1年、五味空さん(19)】リアル店舗には多くの商品が並ぶので「これもあれも」と一度に売れるチャンスが増える。アミュ開業で観光客などが増えることを期待する。

【1年、八代望央さん(18)】ワクワク感に加え、飽きさせない工夫が必要。商店街は夕方薄暗かったので、明るくし

てほしい。

【1年、谷山源さん(18)】県産品や出身者などを推すことで、宮崎がどんなに素晴らしいかを県外の友達に教え街の活性化につなげたい。

【1年、長友良樹さん(19)】消費者としてアミュや商店街へ積極的に行くことが大切。SNSなどで写真や感想などを挙げるのもいいと思う。

【3年、木下莉那さん(20)】以前は安さだけを重視していたが、ここ数カ月は地元を意識して買い物するように。消費者としていいことだと自信が持てたので、今後も意識して行動に移したい。

(11日公開の講義から)

令和2年(2020年)12月22日(火)

宮崎日日新聞社提供

宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

こども新聞の役割

宮崎の明日

宮日と考える

～公立大時事問題講義から

▽▽11

子どもや若者の活字離れが進む中、新聞を身近に感じてもらう取り組みはますます重要になっている。子どもと活字をつなぐ「懸け橋」として



宮本武英(みやもと たけひで) 生活文化部長。1997年入社。報道部、高鍋支局、写真部次長、運動部次長などを経て、2019年4月から現職。静岡県出身。49歳。

こども新聞の役割

2012年5月5日に誕生した「宮日こども新聞」は今年、創刊8周年を迎えた。毎週土曜日、購読全戸に無料配布している。

「主役は子どもたち」を主に置き、子どもの「知りたい」に応え、子ども目線で寄り添いながら制作する特別な紙面。ニュース・社会、学習系コンテンツはもちろん、エンタメ系、キャリア教育、読者投稿、漫画など豊富なラインアップで展開する。家庭以外でもNIE(教育に新聞をの教材として活用する学校も多く、広く親しまれている。

本年度は、子どものためのコンテンツを本紙やデジタルタ刊「プレミヤ」に拡充させ

活字の魅力伝えたい

る取り組みにも力を入れた。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、「おうち時間」が増えた子どもたちに向け、手軽にできる科学実験や工作企画などを本紙に掲載。反響は投稿という形でも表れ、新聞紙工作の深海魚「リュウグウノツカイ」や「こどもの日飾り」などの読者作品が紙面を彩った。

他にも「国文祭・芸文祭みやぎ2020」をこども記者とともに盛り上げるキッズプレスプロジェクト(KPP)や、小学校で始まったプログラミング教育に関するコンテンツ掲載など、子どもを取り巻く環境にアンテナを張りながら、活字の魅力を伝えたい。

学生の感想

【1年、小川菜緒さん(18)】小学生のときは新聞に対し難しい印象を抱いていたので、宮日こども新聞の登場が新鮮でうれしかったことを覚えている。

【1年、濱田萌華さん(19)】小学生の頃に読んでいたこども新聞が、さまざまな工夫をして作っていることを知った。ニコ☆プチのファッションコーナーが好きで、新聞が届くと、まずページをめくって確認していた。

【1年、丸山鈴乃さん(18)】こども新聞は、堅苦しい感じがしないので、新聞を読む習

慣を身に付けるのにとっても良いと思った。

【1年、園田純平さん(19)】頑張っている同世代の子どもを取り上げ、感化されるような記事が増えるといい。

【1年、井上寿々香さん(19)】子どもは、いろいろな話題に触れることで知識が豊かになると思うので、さまざまな内容を紙面に掲載してほしい。

【1年、國本桃華さん(19)】より早い時期から世界に目を向けてもらえるようなコンテンツがあればいい。小さい頃からアンテナを張っていれば、つかめるチャンスも多いと思う。

(18日公開の講義から)

令和2年(2020年)12月29日(火)

宮崎日日新聞社提供

宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

口蹄疫から10年

宮崎の明日

～公立大時事問題講義から

▽▽12



本県で29万7808頭の牛や豚などが殺処分された口蹄疫。今年で発生、終息から10年を迎えた。その節目に、1月から本紙1面で連載「激流

岡支社、経済部、報道部、写真映像部などを経て2019年4月から現職。宮崎市出身。42歳。

口蹄疫から10年

その先「口蹄疫から10年」をスタート。豚熱(CSF)がまん延した愛知、岐阜県などに足を運んで防疫の現場も取材したが、10年前の口蹄疫の教訓が全国の畜産の現場で共有されていない実態が浮き彫りとなった。

一方、この10年で畜産業を取り巻く経営環境は大きく変わった。消費者の嗜好の変化もその一つで、日本政策金融公庫が17年に実施した牛肉消費に関する調査では、赤身肉購入の傾向が強まっていることを指摘している。環太平洋連携協定(TPP)や欧州連合(EU)との経済連携協定(EPA)が次々と発効し、貿易自由化も進展。安価な海外産との競争はさらに激しさを増している。

経営環境大きく変化

米産やオーストラリア産だけでなく、比較的なじみの薄いウルクアイの牛肉も、家庭用として日本市場に浸透しつつあることを連載では紹介した。

国内では、アニマルウェルフェア(動物福祉)という考え方も広く知られるようになっており、環境に優しく健康的とされる「植物肉」も脚光を浴びている。海外産や国内他産地だけでなく、こういった新たな価値観の下で生まれる商品も、今後は競争相手になってくるだろう。経営環境が刻々と変化し続ける中で、本県畜産業はどうすればさらに発展できるのか。口蹄疫10年の節目を、改めて考える機会としたい。

学生の感想

【3年、芝原あかりさん(21)】ブランド牛としての印象を消費者に与えるため、他的高级食材とのコラボ商品やご当地商品を開発すると良いのではないかと。

【1年、橘祐羽さん(19)】大阪出身で宮崎牛の存在を知らなかったが、食べると驚くほどおいしかった。内閣総理大臣賞を受賞していることなどを全国に広めるためにも宣伝は欠かせない。

【1年、田中美里さん(19)】SNSを見ているのは大半が若者。私たち若者が宮崎牛の良さを発信していくことで、

多くの人に食べてもらうきっかけになると思う。

【1年、濱田萌華さん(19)】中高年の女性に植物肉の需要は高まっている。また、安い海外産の肉を買う人も多い。宮崎牛が勝つには、SNSで今まで以上に有名にする必要がある。

【1年、松尾京香さん(19)】畜産業発展のため、宮崎に住む私たちがまず宮崎牛などの畜産物に親しむ機会を増やしていくべきだと思う。

【1年、松原未来さん(19)】話題性をつくるのが大切で、ターゲットを絞ってもいい。何より、地元で愛される必要がある。

(25日公開の講義から)

令和3年(2021年)1月12日(火)

宮崎日日新聞社提供

宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

政治と有権者

宮日と考える
宮崎の明日
～公立大時事問題講義から

選挙担当として2016年参院選、17年衆院選、19年参院選を取材した。いずれも自民党現職優位の展開で、投票率の低さが際立った。投票率

佐賀信行(さがのぶゆき) 報道部次長。2002年入社。校閲部、報道部、経済部、えびの支局長などを経て2020年から現職。延岡市出身。41歳。

政治と有権者

が高かった時代の選挙に携わった関係者の話を聞くと、昔の政治熱はなぜ高かったのか」との思いが湧いた。19年参院選が令和に入つて初の国政選挙。平成が幕を開けた1989年に行われた国政選挙も参院選だった。当時、県農民連盟が威信を懸けた戦いを展開し、農協青年部組織など若い世代も活発に動いた。二つの時代の入り口を比較しても、政治と有権者の距離は大きく変遷している。背景の一つに指摘されるのが社会の成熟。「世の中が豊かになり、本来の意味で政治の大事さを意識しなくなっている」との見方がある。そしてもう一つ、よく聞くのが選挙制度の見直しだ。

時代変化で距離開く

衆院選で96年に小選挙区制が導入されるまで、旧宮崎1、2区は定数3を巡って、自民現職や新人など保守系候補同士が地域を二分する争いを展開した。選挙や後援会活動を怠れば議席を失い、常に緊張感があつた、と振り返る人は少なくない。中選挙区制が理想とは言わないが、健全な形で保守同士が切磋琢磨する環境は必要だと感じる。今の衆院議員の任期は10月21日。令和初の衆院選は、間違いなく今年行われる。次期衆院選の立候補予定者らはSNSでも日々情報発信している。それらを見比べるだけでも、ぐっと次の選挙が身近に感じられるかもしれない。ぜひ関心を寄せてもらいたい。

学生の感想

【4年、大浦実紗さん(22)】
宮崎の政治の変遷について、具体的に知ることができてよかった。政治の動きをニュースなどで見る際に活用していきたい。

【1年、川原昂大さん(19)】
今までは政治について考える時に全国のことしか考えておらず、地元の宮崎の政治についてはあまり考えていなかったと思う。過去数年間、国会議員のメンバーに変化がないという点は驚いた。また、宮崎は投票率が悪いということも聞いたことがあるので、政治に対する考え方を改める必要があると感じた。

【1年、椎畑風花さん(18)】
今までは全くと言っていいほど宮崎の政治について知らなかったのだなと気づかされた。県議会では重要な議論が行われていて、それらは私たちの生活にもかかわってくることなので、自分たちが生活しやすくするためにも、政治にもっと関心を持たなければならなかったと思った。

【1年、日高実花さん(19)】
宮崎の政治の変遷や政治によって状況が変わることの具体例が示されてよく理解できた。宮崎の政治を良くするには、若者がもっと関与しなければならなかったと感じた。
(8日公開の講義から)

令和3年(2021年) 1月24日(日)

宮崎日日新聞社提供

宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

外国人労働者はいま

宮日と考える

宮崎の明日

～公立大時事問題講義から

▽▽14

昨年9月の台風10号により、椎葉村で発生した土砂崩れで、地元の建設会社に勤める若いベトナム人技能実習生2人が犠牲となった。これをきっかけに県内の外国人技能実

巢山 貴行(すま・たかゆき) 報道部次長。2000年入社。報道部、日向支局、整



理部、経済部次長などを経て現職。宮崎市出身。42歳。

外国人労働者はいま

習生や技能実習制度の在り方が注目されている。同制度は発展途上地域への技術や知識の移転、人材育成などを趣旨に1993年に創設され、国内約38万人、県内3546人(2019年10月末時点)が貴重な労働力として、就労している。2人が村で初めての実習生として迎え入れられた背景には、人口減少により産業や集落を維持することが困難となつていく窮状がある。2人は人手不足の補完だけでなく、村の将来を担う人材として期待された。制度の趣旨に反しているが、建設会社や村だけでなく、来日した2人にも「出稼ぎして家族を養う」というくむべき事情があった。

受け入れ制度改善を

問題は実習生が搾取されている実態だ。県内のあるベトナム人実習生は来日前の研修費などに平均年収の5倍近い法外な手数料を現地の「送り出し機関」に支払っていた。国内では受け入れ先の事業所が多額の借金を抱える実習生の弱みにつけ込み、劣悪な労働環境で酷使するケースもある。国連の人種差別撤廃委員会は「債務奴隷」と非難し、制度の改善を求めている。県内の農業、食品加工工場、コンビニでも実習生が働き、彼らなしには成り立たない社会が既に出来上がっている。人口減少社会は目前にある。実習生を不可欠な人材として受け入れる制度と、仲間として思いやる心が求められる。

学生の感想

【4年、川崎剛さん(22)】椎葉村のニュースは目にしていたが、もっと外国人技能実習生の立場が議論されるべきだと思った。

【1年、阪元美月さん(19)】高校の時に外国人労働者の実態を本で読んでショックを受けたが、相生社長のように、実習生を息子のように思い大切にしていた人もいたことを知り、少しだけ安心した。

【1年、村山ありささん(19)】アルバイト先にベトナムやネパールの人が働いているため人ごととは思えなかった。日本人は、まずは彼らに

対する偏見をなくすることが大切ではないか。

【1年、首藤彩美さん(19)】技能実習制度は名前の通り技術を習得するためのものであるべきだ。労働者を必要としているなら他の制度を作り実践していくべきだ。

【1年、藤井実空さん(19)】少子高齢化に伴い労働人口が減少しており、それを補うために低賃金で外国人を働かせているようでは、日本の未来は危ういと思った。

【3年、渡部清隆さん】驚いたのは、技能実習生が送り出し機関に払う額が賃金の何倍も高額だったことだ。支援や法整備が必要と感じた。

令和3年(2021年) 1月26日(火)

宮崎日日新聞社提供

宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

デジタル時代の報道

宮日と考える
宮崎の明日
～公立大時事問題講義から

▽▽15

インターネット、会員制交流サイト(SNS)の普及により、人々のニュースに向き合う形が変わってきた。いつでも、どこでも手軽にニュース

上原幹生(かんばら・みき) おメディア
長。1995年入社。
日向支局
長、報道部次長、総務部次長
などを経て2017年4月から現職。日向市出身。51歳。

デジタル時代の報道

スを手に入れる点で利便性が増した。

一方、ネット上にはニュースが半永久的に残り続け、興味本位で悪質な検索と拡散の対象となる負の面がある。中でも事件事故関連は、何年も前の記事が検索され、当事者や家族、親族らのプライバシー情報が公開、拡散されることで差別や偏見、いじめの問題に発展する恐れもある。

フェイクニュースのまん延が止まらない。誤情報がSNSで広まり、混乱を招くばかりか災害時には人命を左右しかねない。流れてきたすべての情報をうのみにするのではなく、真偽を見極め、取捨選択する力が必要だ。

今後、ニュースはネットで

ユーザー目線大切に

読むことが主流になつていくという見方もある。紙面とデジタルを分けて考える時代ではなく、新聞社はデジタル戦略に力を入れていく。ネット時代ならではのテクノロジーを活用してニュースの見せ方を工夫するとともに、紙面にはないオリジナルコンテンツを発信し、ユーザーの満足度を高めていく。

情報が洪水のように流れてくるネットでも、紙面同様「正しく伝える」という報道の根幹は変わらない。フェイクニュースではない、事実に基づく正確かつ洞察に優れた情報を分かりやすく、ユーザー目線で届けることは、デジタルメディアに携わる者の重要な役割だ。

＝おわり＝

学生の感想

【4年、川崎剛さん(22)】
オールドメディア、特に地方紙の役割は、その地域に寄り添うことだと思う。まだまだネットを使えない人たちがいるのも事実で、そういった人たちにニュースを届ける媒体として新聞は絶対必要だ。

【1年、小川ジュリさん(19)】
ネットで読者が気になる記事の細部は、新聞でなければ読めないようにすることで読者の興味を新聞へ持っていくことができる。

【1年、知花有奏さん(19)】
ネットやSNSなどでさまざまな情報が入り乱れる中、最も信用できる媒体として新聞は活躍できる。閲覧数や注目を集めるために事実とは異なる報道をするネットに比べ、新聞はプロの記者がしっかりと取材して作られている。新聞の魅力がもっと広がればいい。

【1年、森山美乃さん(19)】
ネットが発展した現在でもオールドメディアの重要性を感じるようになった。よくネットでニュースを見ることがある。その記事の多くは新聞社から出たもの。新聞の信ぴょう性はネットを凌駕する。さまざまな世代のニーズに合わせたプラットフォームが大切になる。

(22日公開の講義から)

IV 資 料

宮崎公立大学交流センター・凌雲会館施設利用状況

宮崎公立大学交流センターは、地域住民の生涯学習及び外国人留学生との国際交流の拠点を目指して建設されたものです。

交流センター内には、生涯学習や国際交流のための講演会等が開催できる多目的ホール、会議室、和室、交流ラウンジがあり、蔚山大学校や蘇州大学からの短期留学生の受け入れ行事や日本文化体験の場として使われるほか、一般市民向けの語学講座や学外団体による研修会など、学内外者が利用できる施設として広く活用されています。

一方、凌雲会館は、本学が開学 10 周年を迎えたことを記念し建設され、1 階が学生支援センターと学生支援課、2 階が地域研究センターになっており、主として学生や課外活動団体、本学の教職員及びそれらが関わる団体などが使用する施設です。

1 令和 2(2020)年度施設利用状況

開館日（294 日）

2 施設別の利用状況

施設名		利用件数	利用率	備 考
交流センター	多目的ホール	82	27.9%	
	会議室	24	8.2%	
	和室	95	32.3%	
凌雲会館	会議室AB	9	3.1%	
	共同研究室	45	15.3%	行事日以外は学生に開放
	IT教育支援室	学生に開放		

3 行事別の利用状況

施設名		学内行事 *1	講座等 *2	教員関連 *3	学外行事 *4	部活動・ 学生使用
交流センター	多目的ホール	25.6%	11.0%	9.8%	11.0%	42.6%
	会議室	60.0%	16.0%	—	16.0%	8.0%
	和室	6.3%	—	—	—	93.7%
凌雲会館	会議室AB	100%	—	—	—	—
	共同研究室	51.7%	17.2%	8.6%	—	22.5%
	IT教育支援室	学生に開放				

*1 学内行事：短期留学生研修、大学訪問案内等 *2 講座等：自主講座等

*3 教員関連：授業等

*4 学外行事：他団体研修等

※令和 2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、凌雲会館をリモート授業の受講会場及び就職活動(Web 面接)の為に学生へ開放した。

令和 2(2020)年度 地域貢献部会 開催実績

	開催日時	開催場所	主 な 議 題
第 1 回	令和 2 年 7 月 16 日(木) 10:30～12:00	オンライン 会議	・ 令和 2 年度自主講座について ・ 第 3 期中期計画(令和 2 年度計画)について ・ 小学校との連携事業(外国語による読み聞かせ)について
第 2 回	令和 2 年 8 月 27 日(木) 10:30～12:00	オンライン 会議	・ リカレント教育(新規予算要求)について ・ 小学校との連携事業について(外国語による読み聞かせ) ・ 令和 2 年度自主講座開催上の注意事項の確認及びオンライン開催について ・ オンライン語学講座(中国語初級 韓国語初級)開催について
第 3 回	令和 2 年 10 月 5 日(月) 10:30～11:45	オンライン 会議	・ 第 3 期中期計画(令和 2 年度進捗状況)について ・ オンライン語学講座(英語中級)について
第 4 回	令和 2 年 11 月 27 日(金) 13:10～14:25	オンライン 会議	・ 令和 3 年度前期開放授業について ・ 今後の施設貸出について ・ 宮崎公立大学公開講座実施要綱の制定について
第 5 回	令和 2 年 12 月 24 日(木) 10:30～12:10	オンライン 会議	・ 小学生英語教室の開催について ・ 街市実行委員会と連携した「寄付講座」の開設について ・ 一般社団法人生命保険協会からの「寄付講座」の申し出について ・ 小学校での読み聞かせの実施について ・ 「JAXA の方をお招きした講演会」の開催について

	開催日時	開催場所	主 な 議 題
第 6 回	令和 3 年 1 月 15 日 (金) 10:30～12:00	オンライン 会議	・ 令和 3 年度自主講座について ・ 第 3 期中期計画令和 3 年度計画(案)について ・ 宮崎公立大学における寄付講座の取扱いについて ・ 街市実行委員会と連携した「寄付講座」の開設について ・ 一般社団法人生命保険協会からの「寄付講座」の申し出について ・ 小学校での読み聞かせの実施について ・ 「JAXA の方をお招きした講演会」の開催について ・ 「宮崎公立大学公開講座等実施基準(新型コロナウイルス感染症関連)」について
第 7 回	令和 3 年 2 月 18 日 (木) 10:30～11:45	オンライン 会議	・ 令和 3 年度語学講座について ・ 第 3 期中期計画(案)フィードバックについて ・ 第 3 期中期計画令和 2 年度実績について
第 8 回	令和 3 年 3 月 2 日 (火) 13:10～14:45	オンライン 会議	・ 令和 3 年度語学講座(韓国語)について ・ 街市実行委員会による寄付講座について ・ 令和 3 年度定期公開講座について

V 付 録

新 聞 掲 載 記 事 一 覧

	掲 載 日	掲 載 紙	見 出 し
1	令和 2 年 6 月 26 日	宮崎日日新聞	公立大 2 人「特別講師」 コロナで韓国留学中断、帰国
2	令和 2 年 10 月 27 日	宮崎日日新聞	念願の「九州初勝利」公立大
3	令和 2 年 12 月 22 日	宮崎日日新聞	西池小学校危険箇所は？ 公立大開発アプリ活用 児童調査し防災マップ
4	令和 2 年 12 月 23 日	宮崎日日新聞	コロナ禍知恵絞り世代間交流 リモートでサロン再開

令和 2 年(2020 年) 6 月 26 日(金)

宮崎日日新聞社提供

コロナで韓国留学中断、帰国

苦境を成長の糧に一。新型コロナウイルス感染拡大で、留学先の韓国から途中帰国を余儀なくされた宮崎市・宮崎公立大の4年生2人が25日まで1カ月間、同校で語学研修の「特別講師」を務めた。生徒は、同じくコロナ禍で研修の機会を失った県警警察官。学生生活に大きな影響が出た2人だが、新たな成長の場に恵まれ、「学んできたことを地域のために生かしてうれしい」と話している。

研修延期の警官に語学指導

研修は5月下旬から週2回、各3時間行い、文法や発音などを指導。文化の違いなど留学経験を生かした内容も盛り込み、独学で学んできた大

一方、県警人財育成課の大山愛加さん(24)は、4月から東京の警察大学校で韓国語を学ぶ予定だったが、受け入れが延期に。県警から相談を受けた同大学の提案で、2人が特別講師を務めることになった。

2人は、大学の公費派遣制度で昨年9月から韓国・蔚山(ウサン)に留学した三續佳奈さん(22)と金丸由樹菜さん(21)。本来の留学期間は1年間だったが、世界的な感染拡大を受けて、3月上旬に急きょ帰国した。

公立大2人「特別講師」

山さんは「発音や単語のた」と手応えを語る。使い方を実践的に学べ、三續さんと金丸さんに「使う力」が身に付き、よると、韓国内では2月

県警の警察官に韓国語を指導する三續佳奈さん(右)と金丸由樹菜さん(中央)。25日午後、宮崎市・宮崎公立大(不友撮影)



中旬ごろから感染が拡大。蔚山市の近隣都市でも集団感染が明らかとなり、緊迫した日々が続いた。帰国後、自宅待機した2週間は自宅で食事を取るなど家族との接触も控えて過ごし、先の見通しも立たない状況に「やるせない」と2人。同じ境遇にある留学仲間と励まし合いながら、自粛生活を乗り越えたという。

休学して留学した2人は、予定より早い帰国で急きょ復学を決めたため、卒業の時期や就職活動を含めて今後の進路に不安は尽きない。ただ、「『地元に貢献する』という留学の目的を果たす機会があつて良かった」と金丸さん。三續さんは「将来について見詰め直すこともできた。新たな選択肢をもらえた」と捉えて頑張りたい」と前を向いた。

(馬場友理恵)

令和 2 年(2020 年) 10 月 27 日(火)

宮崎日日新聞社提供

公立大、産経大準決へ

九州大学野球
南部決勝大会
第1日

大学野球の第104回九州地区選手権南部九州ブロック決勝大会は26日、熊本市のリワーク藤崎台球場などで8チームが参加して開幕した。1回戦4試合が行われ、本県第2代表の宮崎公立大は中縄大に4-3で逆転勝ちし、同大会初勝利を挙げた。第1代表の宮崎産経大も11-0の西村成史(4年、都城商)と黒岩隼人(3年、回コールド)の連続で相手打線を安打に抑えた。第2日の準決勝は同球場であり、産経大は午前10時から沖縄国際大、公立大は午後1時から東海大九州キャンパス(熊本)と対戦する。

△1回戦
産経大20270-011
熊本大00000-011
(回コールド)
産経大 西村 黒岩 山(熊)
熊本大 矢野 竹下 水瀬
公立大 200000002-4
中縄大 000010000-3
公大 川崎 小村 池 平、具
産経大 三好 大城 2 池 三
回コールド
中縄大 4-1 鹿屋 俵 不
東海大 九州 8-1 鹿児島 大 七
回コールド



九州大会で初勝利を挙げた公立大の選手ら(チーム提供)

念願の「九州初勝利」公立大

〇エース主砲の活躍で、創部28年目の公立大が念願の「九州初勝利」をつかんだ。米田隼太主将(2年、都城泉ヶ丘)は「やったぞ」という気持ち。本音に信じられない」と興奮を隠しきれなかった。

先発の川崎剛(4年、宮崎南)は今年大会を最後に、18年間続けた野球に区切りを付ける。それだけに「悔いのない投球をしたかった。持ち味の4種類の変化球を駆使し、中縄第1代表を相手に6安打、3失点完投。「全てを出し切れた」と達成感に浸った。

力投に応えたのが児玉稜真(2年、宮崎北)。7回2死満塁の好機で三振に倒れた4番は、1点を追う土壇場の九回に起死回生の逆転タイムリー。「自分で決めたと言いつつ聞かせた席に入った。意地を示したかった」。沸き上がるベンチに向かって、鼻上で何度もガッツポーズを繰り返した。

初出場だった昨年は1回戦敗退。今回は県リーグ終了直後から練習を週2回から4回に増やし、サインプレーや内外野の連携を磨いてきた。米田主将は「チームは確実に成長している。この勢いのまま明日も勝ちたい」と力強かった。(矢野剛士)

令和 2 年(2020 年) 12 月 22 日(火)

宮崎日日新聞社提供

西池小校区 危険箇所は？



初めてタブレット端末を使い、地域の危険箇所の調査を行った西池小5年生ら

持続可能な
暮らしへ



みやざき
SDGs

同校5年生は9年前から危険箇所調査をしているが端末の活用は初め

児童調査し防災マップ

宮崎市・西池小(山口昇校長、915人)の5年生は、同校に本年度配備されたタブレット端末を使い、校区内の危険箇所の調査を行った。共同で調査している宮崎公立大・辻利則教授(情報科学)の研究室が開発したアプリを活用。災害時に危険と思われる場所を撮影したり注意事項を記入したりして、防災マップを完成させた。

宮崎市 公立大開発アプリ活用

て。アプリは撮影したすべての場所を地図に表示可能。地図上の目印をタップすると、写真やメモを確認できる。

調査は15日に実施し、同大学の研究室生10人も参加。2クラスの児童約80人は県総合文化公園に集合後、8班に分かれた。大学生の先導で2時間かけ、大学や和知川原街区公園などの周辺を歩いて調査した。

児童2、3人で1台の端末を持ち、側溝のふたの不備やぐらぐらした道路標識などを見つけると写真を撮り、メモを書き込んだ。

水害が起こりやすい小松川沿いなどは、地域住民による注意事項の説明も。端末を使った田崎香帆さん(10)は「使い方が簡単で、すぐに危険な場所も分かるのでとても便利」と話していた。

同校5年生の残り2クラスも17日、同様の調査を行った。

(中村和彦)

★「ブレミヤ」にも掲載

令和 2 年(2020 年) 12 月 23 日(水)

宮崎日日新聞社提供

コロナ禍知恵絞り世代間交流

リモートで サロン再開



ビデオ会議システムを使い、リモートで約1年ぶりに再開した宮崎市中央西地区の高齢者サロン

また会えてうれしい。コロナ禍で中断していた宮崎市中央西地区の高齢者と宮崎公立大生の交流会が、ビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」を使い、約1年ぶりに再開した。高齢者のリモート活動について宮崎市老人クラブ連合会は「聞いたことがないこととして、関係者は「珍しい取り組みでは」と話している。

宮崎市 学生と高齢者`再会、喜ぶ

交流会の名称は「サロン de ピーすけ」で、地域高齢者の居場所づくりのため同地区社会福祉協議会などが開催。同大学・辻利則教授(情報科学)のゼミ生で構成する「ネットワークボランティア部」(21人)が企画運営し、6年前から始めた。同大学交流センターで5

つたため、11月からリモートでの開催を決め、学生と高齢者を別々の会場に分けた。再開後は密を避けるため高齢者を2班に分け、サロンを2回実施した。今月上旬には、高齢者4人が会場のみやぎ子ども文化センターに集合。パソコンやタブレット端末を使い、プロジェクトに映し出された学生と交流した。双方がホワイトボードに絵を描いて見せ合う「絵しりとり」や「イントロ当てクイズ」を実施。「絵がうまいね」「曲名が出てこん」などと笑い声があふれた。開始当初から参加する同市丸山2丁目の大坪泰子さん(83)は「再開が待ち遠しかった。孫のような学生と楽しく過ごせる時間は幸せ」と笑顔。高齢者会場で進行を担当した同大学4年、西匠太郎さん(22)は「リモートでもアイデア次第で楽しく交流できる。知恵を絞りたい」と、前を見据えている。(中村和彦)★「プレミア」にも掲載

地 域 研 究 セ ン タ ー 年 報
令 和 2 (2020) 年 度 第 13 号

発 行 日 : 令和 3 年 10 月
編 集 者 : 宮崎公立大学 地域研究センター
住 所 : 〒880-8520 宮崎市船塚 1 丁目 58 番地
電 話 : 0985-20-4772
F A X : 0985-20-4773
U R L : <https://www.miyazaki-mu.ac.jp>
E -Mail : mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp

地域研究センター
1 年報

令和2(2020)年度
第13号

宮崎公立大学